

Student Guide to Japan

2025-2026



日本語版



STUDY in JAPAN

Chapter 1 日本留学を知る

- 01 日本留学の魅力
- 02 日本ってどんな国？
- 04 なぜ日本留学？

- 05 留学計画
- 06 スケジュール

Chapter 2 学校・試験を知る

- 08 日本の教育制度
- 10 大学(学部)・短期大学
- 12 大学院
- 15 英語による学位取得コース
- 16 短期留学・編入学
- 17 高等専門学校

- 18 専門学校(専修学校専門課程)
- 20 日本語教育機関
- 22 日本留学試験(EJU)
- 24 日本留学に利用されている各種試験
- 25 日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業

Chapter 3 暮らしを知る

- 26 入国手続
- 30 留学に必要な経費
- 31 生活費・物価
- 32 学費
- 34 奨学金

- 36 住居
- 37 医療保険・損害保険・共済
- 38 アルバイト
- 39 インターンシップ
- 40 日本での就職

Chapter 4 統計データ

- 41 統計

お役立ちデータ

- 42 体験談
- 44 日本留学Q&A
- 45 日本留学のためのお役立ちサイト

日本留学の魅力 *Why Study in Japan?*

世界最高レベルの教育水準

日本留学の最大の魅力は最先端の技術・知識が学べることです。特に科学の分野においては世界をリードしており、近年はほぼ毎年ノーベル賞受賞者を輩出しています。自動車、家電、医療機器、ロボット、航空宇宙産業、AI等、その優れた科学技術を駆使した製品が世界中で認められ、人々の暮らしを支えています。また、日本の学校では学力だけでなく、礼儀を重んじる心などが鍛えられ、社会に出てから役に立つと、留学生から高い評価を得ています。



手頃な学費

日本の学費はアメリカやイギリスと比べても安いです。例えば日本の国立大学の授業料は、アメリカの公立大学の授業料の5分の1程度です。また、日本は留学生に対する奨学金や授業料免除・減免制度も充実しています。

国際的な環境

現在、世界約180以上の国・地域から来た約30万人もの留学生が日本の大学や日本語学校等で学んでいます。力強い成長を続けているアジアは、世界でも注目されている地域です。日本への留学は、日本だけではなく世界全体を学ぶことにも繋がるでしょう。また、日本語の習得が障壁とならない、英語により学位取得可能なコースも増えています。



豊かな自然と文化

春・夏・秋・冬の季節が楽しめる自然豊かな日本。また海に囲まれた日本では、古来より独自の文化が育まれてきました。現在は、茶道や生け花などの伝統文化と、アニメ、マンガなどのポップカルチャーが共存しています。ユネスコ無形文化遺産に登録された和食は季節の食材を取り入れた、色彩豊かな健康的な料理として世界でも注目されています。

日本での就職

日本では、国籍に関係なく優秀な外国人留学生の採用が増えています。彼らは、国際的な架け橋として、多様な考え方で組織を活性化しています。日本には大企業だけではなく中小企業でも、世界ナンバーワンの技術やトップシェアを誇る優良企業がたくさんあります。日本での就職は、将来のために知識や経験を積む絶好の機会となることでしょう。



日本ってどんな国？



平均寿命：世界**1**位



産業用ロボット稼働台数：世界**2**位



自動車輸出台数：世界**2**位



国内総生産 (GDP)：世界**3**位



国連分担金：世界**3**位

日本人のノーベル賞受賞者数(30人)：世界6位(アジア1位)

日本学生支援機構調べ

世界平和度指数：世界17位(アジア3位)

人口：世界11位

世界遺産数：世界11位(アジア3位)

出典：キッズ外務省 世界いろいろ雑学ランキング

出典：GLOBAL PEACE INDEX 2024

参考：ノーベル財団資料

日本の基本情報

面積：約378,000 km²

人口：約124,352,000人

首都：東京

言語：日本語

通貨：円(¥)

出典：総務省統計局発表(2023年)





日本紹介ウェブページ

- Web Japan (外務省)

<https://web-japan.org/>



- 日本政府観光局 (JNTO)

<https://www.jnto.go.jp/>



- 魅力あふれる日本の地方 (観光庁)

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/cruise/jp/introduction/index.html>



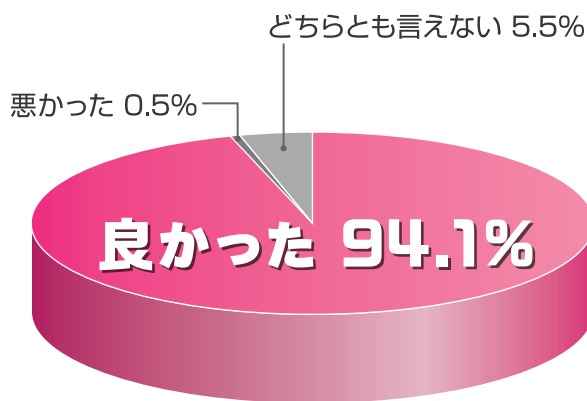
なぜ日本留学？

現在留学中の皆さんに聞きました！

なぜ留学先に日本を選んだのですか？（複数回答）

- | | | |
|-----|---------------------------------|-------|
| 第1位 | 日本社会に興味があり、日本で生活したかったため …… | 61.3% |
| 第2位 | 日本語・日本文化を勉強したかったため …… | 39.4% |
| 第3位 | 日本の大学等の教育、研究が魅力的と思ったため …… | 37.8% |
| 第4位 | 興味ある専門分野があったため …… | 25.0% |
| 第5位 | 異文化に接したかったため …… | 21.7% |
| 第6位 | 地理的に近いため …… | 18.0% |
| 第7位 | 他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため …… | 17.2% |
| 第8位 | 日本と関連の有る職業につきたかったため …… | 16.7% |

日本留学した印象は？



出典：「令和5年度私費外国人留学生生活実態調査」(JASSO)



日本人や他国の友だちを多く作って積極的にコミュニケーションをとったり課外活動に積極的に参加することで充実した生活を送ることができました！



素晴らしい研究者や環境に囲まれ、充実した研究生活を送ることができます。はっきりとした目標を立て、研究に没頭してみてください！



日本独特の就職活動は大変でしたが、自分を再認識し、本当に成長できる貴重な経験でした！

留学計画 - プランニング

計画作りが成功のカギです!



留学の目的は何?

あなたが目指す将来の職業には、どんな資格・能力が必要なの?

What?

何を?

何を学びたいの?

専攻・専門分野は?

Where?

どこで?

どの教育機関で学ばいいの?

How long?

どのくらい?

どのくらいの期間学ぶ必要があるの?

1 学位・称号	学士号	経営学? 教育学? 物理学? 工学? 情報学? 医学? 農学? デザイン? 美術? ファッション? アニメ?	大学	4年(※一部6年)
	修士号		大学院	2年～
	博士号		大学院	3年～
	短期大学士		短期大学	2年(※一部3年)
	準学士		高等専門学校	3年(※一部3年6ヵ月)
	専門士		専門学校	2～3年
	高度専門士		専門学校	4年

2 短期学習体験	短期留学	・日本語 ・日本文化 ・比較文化	日本語学校 大学の短期プログラム	数ヵ月～1年
	交換留学		大学	1年以内

3 日本語学習	語学修得	・進学コース ・日本語会話 ・ビジネス日本語	日本語学校	～2年
	進学		日本語学校	～2年
			私立大学・短期大学 留学生別科	1～2年



いつ行くの?

いつから始まるの?
準備にはどのくらいの期間が必要?

How much?

いくら?

いくらかかるの?

渡航費は? 生活費は?
家賃は? 食費は?
貯金は足りる? 家族の仕送りは?
アルバイトは? 奨学金は?

P.6～7の「スケジュール」を見ながら計画を立ててみよう!

P.30～38を見ながら試算してみよう!

ステップ	関連ページ	時期		行動
1 プランニングと情報収集	P.5、P.25、 P.30～33、 P.44～45			留学の目的を明確化、具体化する。必要な語学力や留学費用を確認する
2 日本語学校の資料請求	P.20・21	4月～6月	10月～12月	いくつかの志望校の学校案内、入学願書を取り寄せる。出願資格を確認する
3 学校選択	P.20・21	～9月	～2月	学校案内等の資料に基づき志望校を絞る
4 出願	P.20・21	9月～11月	2月～4月	入学願書、必要書類を志望校に送る
5 入学許可		1月～3月	7月～9月	入学許可書を受け取る。授業料等を送金する
6 入国手続き	P.26～29			在留資格認定証明書(COE)を受け取り、査証(ビザ)を申請する
7 留学準備				住居を探す
8 渡航手続き・出発				航空券、保険を手配する
9 入学手続き				
10 日本語学校入学・学習スタート		4月(1年・2年コース)	10月(1年半コース)	
11 日本語学校修了				

12 大学・専門学校の資料請求	P.10～19	4月～5月／ 9月～10月	いくつかの志望校の学校案内、入学願書を取り寄せる。出願資格を確認する
13 学校選択	P.10～19	～6月／～11月	学校案内等の資料に基づき志望校を絞る
14 日本留学試験(EJU)申込み	P.22・23	～7月／～3月	日本留学試験(EJU)申込み、必要な試験を受験する 日本語能力試験(JLPT) TOEFL®、IELTS、TOEIC®受験(必要に応じて)
15 出願	P.10～19	8月～10月／ 1月～11月	入学願書、必要書類を志望校に送る
16 受験		11月～2月／ 3月～8月	書類選考、日本留学試験(EJU)受験、志望校の入学試験受験等
17 入学許可		1月～3月／ 6月～8月	入学許可書を受け取る。授業料等を送金する
18 入国手続き	P.26～29		在留資格認定証明書(COE)を受け取り、査証(ビザ)を申請する
19 留学準備			住居を探す
20 在留期間の更新許可申請・活動機関に関する届出			
21 渡航手続き・出発			航空券、保険を手配する
22 入学手続き			
23 日本語学校修了			
24 大学・専門学校入学		4月／ 9月または10月	※一部秋入学(9月または10月)の学校もあります。
25 大学・専門学校卒業		3月／ 8月または9月	※出願から入学手続きまでの流れは学校によって異なります。 学校の募集要項をよく確認し、手続きにミスがないように注意してください。

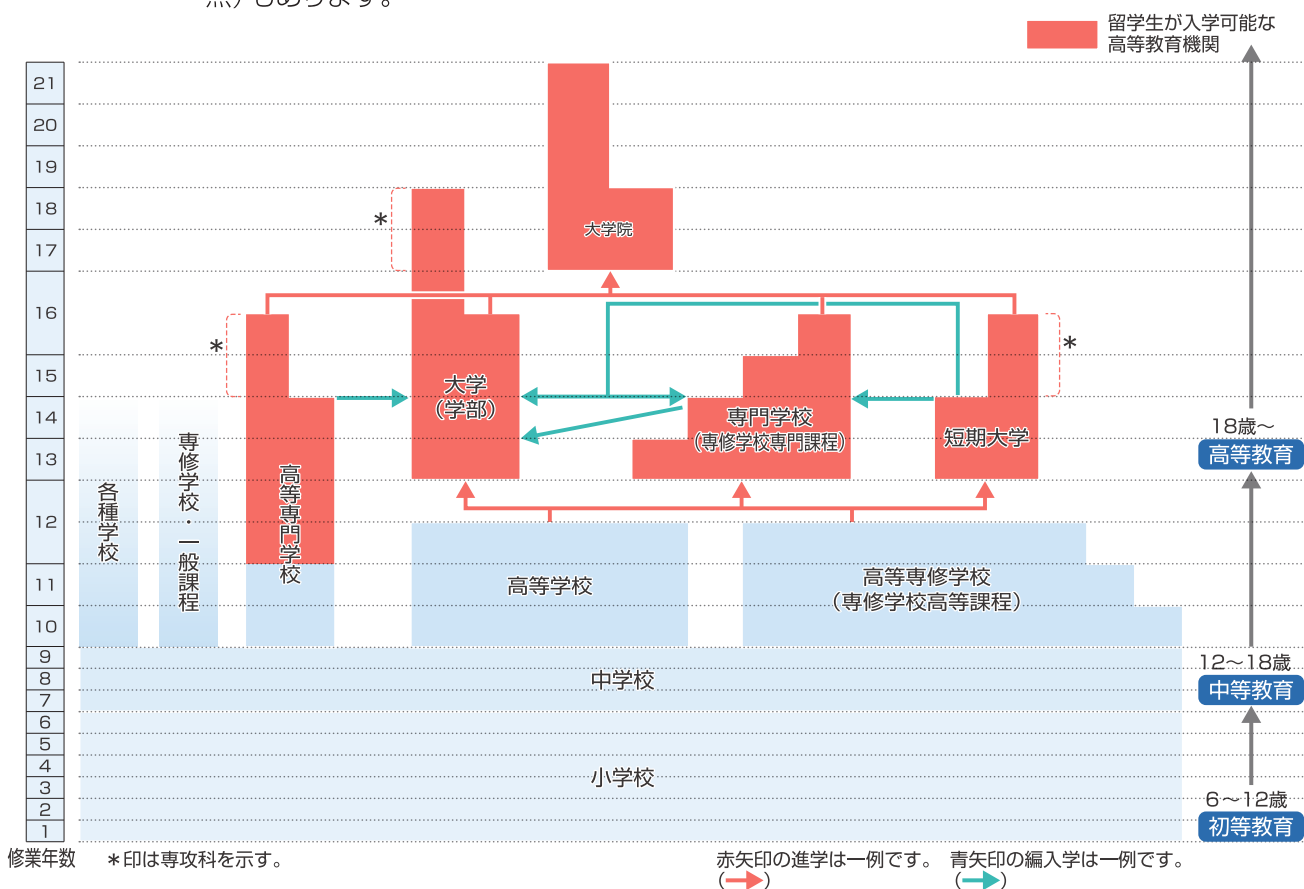
日本の教育制度

日本の高等教育は、初等教育（小学校6年間）及び中等教育（中学校3年間、高等学校3年間）の12年間を修了してから始まります。

留学生が入学可能な高等教育機関は、①大学（学部）（P.10～11参照）、②短期大学（P.10～11参照）、③大学院（P.12～14参照）、④高等専門学校（P.17参照）、⑤専門学校（専修学校専門課程）（P.18～19参照）の5つがあります。

設置者により、国立・公立・私立に分けられます。

また、留学生が日本語を勉強することができる日本語教育機関（P.20～21参照）もあります。



1. 学事暦と学期制を確認しよう！

日本の学校は、通常4月から翌3月までを1学年としています。日本の多くの大学がセメスター制（2学期制）を取り入れており、前期が4～9月、後期が10～3月ですが、3学期制やクォーター制（4学期制）を導入している大学もあります。日本は4月入学が一般的ですが、特に大学院では9月入学や10月入学を取り入れている大学が多いです。

4月入学、2学期制の学生の一年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前期			夏休み			後期			冬休み	後期	春休み

2. 入学資格を確認しよう！

日本の大学(学部)・短期大学・専門学校へ入学するためには、原則として、**正規の学校教育の12年の課程を修了している必要があります**。高等専門学校への入学(第3学年への編入学)のためには11年、大学院(修士課程)への入学は16年の学校教育の課程を修了していなければなりません。

インド、ネパール、バングラデシュ、マレーシア、ペルー等において10年または11年の初等・中等教育を修了した者が日本の大学等に入学する場合は、右のいずれかの条件を満たしている必要があります。

ただし、次の条件のほか、学校独自の要件が求められることもあります。入学資格があるかどうか不明な場合は、必ず志望校へ問い合わせましょう。

- ① 母国の大学入学前の準備教育課程や大学等の高等教育機関に1年または2年在籍し、正規の学校教育の12年目の課程を修了する。
- ② 文部科学大臣が指定する準備教育課程^{*1}を修了する(日本の高等学校相当の課程を修了した者に限る)。
ただし、初等・中等教育の教育課程が12年に満たない課程を修了した者については、文部科学大臣が指定した当該国で11年以上の課程を修了^{*2}した場合、準備教育課程を修了しなくても入学資格があるとみなされる。

 ^{*1} 文部科学大臣指定「準備教育課程一覧」
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm



 ^{*2} 文部科学大臣指定「高等学校に対応する外国の学校の一覧」
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm



3. 取得できる学位・称号及び修業年数を確認しよう！

	課程	取得学位・称号	標準修業年限
大学院	博士課程 ^{*1}	博士	5年
	修士課程	修士	2年
	専門職学位課程	修士(専門職)	1～2年
		法務博士(専門職)	3年
大学(学部)	一般の学部、4年制の薬学部	学士	4年
	医学、歯学、獣医学の課程、6年制の薬学部		6年
専門職大学	4年制課程	学士(専門職)	4年
短期大学 ^{*4}	2年課程	短期大学士	2年
	3年課程		3年
専門職短期大学	2年課程	短期大学士(専門職)	2年
	3年課程		3年
高等専門学校 ^{*4}	—	準学士 ^{*3}	3年(商船は3年6ヵ月) ^{*2}
専修学校	専門課程(専門学校)	専門士 ^{*3}	2年以上
		高度専門士 ^{*3}	4年以上

^{*1} 大学院博士課程は前期課程(2年)と後期課程(3年)に分かれている場合があります。学士課程の修業年限が6年の医学・歯学・獣医学、6年制の薬学は、博士課程の修業年限が4年です。

^{*2} 高等専門学校の修業年限は5年ですが、通常、留学生は第3学年への受け入れとなります。

^{*3} 高等専門学校での「準学士」、専門学校での「専門士」及び「高度専門士」は学位ではなく称号です。

^{*4} 短期大学・高等専門学校を卒業後、大学改革支援・学位授与機構(NIAD-QE)が認定した短期大学・高等専門学校の専攻科を修了し、NIAD-QEの審査に合格すると「学士」の学位が取得できます。詳細は志望校に確認してください。



 学位授与事業(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構)
https://www.niad.ac.jp/n_gakui/



Q 日本で得た学位は他の国でも有効ですか？

A 一般的に日本で得た学位は、他の国々で得た学位と同等の価値を持ちます。

ただし、国によっては、教育省や認証評価機関(非営利団体、民間企業等)が、外国で得た学位を評価しているところもあります。あらかじめ母国の関係機関に確認してください。

大学(学部)・短期大学

高等教育の中核をなす教育機関で、大学は修業年限が原則4年、短期大学は原則2年です。学校によっては、非正規生である聴講生、科目等履修生の制度があります。学位取得を目的とした長期留学の他に、学位取得を目的としない短期留学制度(P.16参照)もあります。

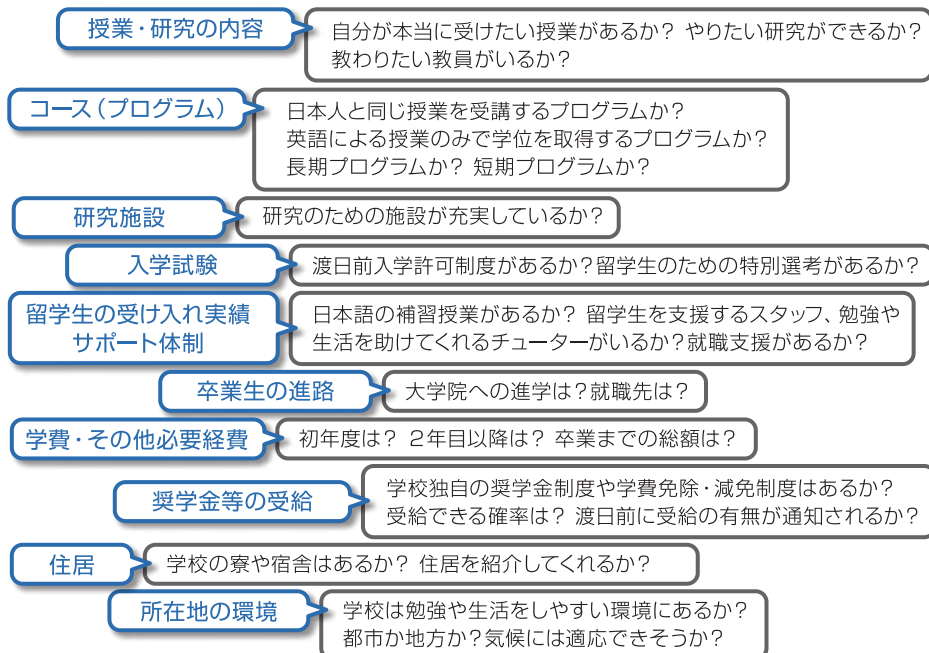
1. 入学資格を確認しよう！

いずれかの条件を満たしている必要があります。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者(12年以上の正規教育課程を修了)
2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者(12年以上の正規教育課程を修了)
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程)又は研修施設(文部科学大臣指定研修施設)の課程を修了する必要がある。)
※「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程)又は研修施設(文部科学大臣指定研修施設)の課程を修了する必要がある。)
※合格した学力認定試験が12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
5. 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程(文部科学大臣指定高等学校に対応する外国の学校の課程)を修了した者
6. 日本において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程)を修了する必要がある。)
7. 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの))の課程を修了した者
8. 指定された専修学校の高等課程(文部科学大臣指定専修学校高等課程)を修了した者
9. 旧制学校等を修了した者
10. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を保有する者
11. 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。
12. 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者(なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。)
13. 大学において個別の入学資格審査により認めた18歳以上の者

2. 学校を探そう！

大学・短期大学を選ぶポイント



 **大学・短期大学情報検索 (日本留学情報サイト)**
https://www.studyinjapan.go.jp/ja/search-for-schools/school_search.php



 **大学・短期大学検索 (JAPAN STUDY SUPPORT)**
<https://www.jpss.jp/>



●『私費外国人留学生のための大学入学案内』

各大学の入学試験内容、留学生受験合格者数等の貴重な情報を収めたガイドブック。

編集・発行：公益財団法人アジア学生文化協会（日本国内での販売）

※日本留学促進資料公開拠点（P.44参照）にて閲覧可能です。

3. 出願書類を確認しよう！

- ① 入学願書（大学所定のもの）
- ② 高等学校の卒業（見込）証明書
- ③ 高等学校の成績証明書
- ④ 出身高等学校の校長または教員の推薦状
- ⑤ 日本語能力・英語能力証明書
- ⑥ その他

学校によって提出書類は異なり、また、日本語か英語の翻訳を求められる場合があるので、詳しくは志望校に直接問い合わせましょう。

●専門職大学・専門職短期大学とは？

特定の職業のプロフェッショナルになるために必要な知識・理論、そして実践的なスキルの両方を身に付けることができる大学・短期大学です。

長期の企業内実習を含む豊富な実習や、専攻する職業に関連する他分野の学修等を通じて、職業に直結する「高度な実践力」「豊かな創造力」を身に付けます。卒業者は、「学士（専門職）」又は「短期大学士（専門職）」の学位が取得できます。

4. 入学試験を確認しよう！

多くの学校では、日本人受験者を対象とした入学試験のほか、外国人（留学生）を対象とした入学試験も行っています。次のような項目を複数組み合わせ選考します。学校によって試験の方法が異なるので、学校の受験案内等で確認しましょう。

- ① 書類審査
- ② 学力検査
- ③ 面接
- ④ 小論文・作文
- ⑤ その他の能力・適性等に関する検査
- ⑥ 日本留学試験（EJU）
- ⑦ 日本語能力試験（JLPT）
- ⑧ 大学入学共通テスト



5. 卒業・修了するには？

以下の要件を満たして卒業すると、学位が取得できます。

※大学によって独自の卒業単位数・要件を定めている場合があります。

種類		標準修業年限	取得単位数	取得学位
大学(学部)	一般の学部、4年制の薬学部	4年	124単位以上	学士
	医学・歯学・獣医学の課程 6年制の薬学部	6年	医学・歯学 188単位以上 獣医学 182単位以上 薬学 186単位以上	
専門職大学	4年制課程	4年	124単位以上	学士(専門職)
短期大学	2年課程	—	62単位以上	短期大学士
	3年課程	—	93単位以上	
専門職短期大学	2年課程	—	62単位以上	短期大学士(専門職)
	3年課程	—	93単位以上	

※1 前期課程、後期課程に分かれた専門職大学の前期課程を修了した場合、「短期大学士（専門職）」の学位を取得できます。

※2 短期大学・専門職短期大学を卒業後、大学改革支援・学位授与機構（NIAD-QE）が認定した専攻科を修了しNIAD-QEの審査に合格すると「学士」の学位が取得できます。

大学院



1. 入学資格を確認しよう！

いずれかの条件を満たしている必要があります。

1 修士課程(博士前期課程)

- ① 大学を卒業した者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育を日本において履修することにより当該国の16年(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者
- ⑤ 日本において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者
- ⑥ 外国の大学等において、修業年限が3年以上(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については5年)の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程)を修了した者
- ⑧ 旧制学校等を修了した者
- ⑨ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者
- ⑩ 大学院において個別の入学資格審査により認めた22歳以上の者

2 博士課程(博士後期課程)

- ① 修士の学位や専門職学位を有する者
- ② 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国の学校が行う通信教育を日本において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 日本において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校)を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
- ⑦ 大学院において個別の入学資格審査により認めた24歳以上の者

3 博士課程(医学、歯学、一部の薬学課程、獣医学)

医学、歯学、一部の薬学課程、獣医学の課程に出願する際は、学歴によって出願資格が異なるため、出願前に各大学に問い合わせてください。

2. 研究計画書を書こう！

研究計画書とはテーマを定めて、それについてどのように研究するのかをまとめた文書です。ほとんどの大学院で、入学のために研究計画書の提出が求められます。

内容は、以下の通りです。

- ① 研究の目的
- ② 背景
- ③ 意義
- ④ 方法
- ⑤ 参考文献等

書式や文字数は学校によって異なります。一般的には、2,000 字程度です。研究計画書を作成するには、自分が研究したい分野の論文を探し、どこまで研究が進んでいて、どのような課題が残されているかを調べるのが大切です。

審査のポイントは以下の通りです。

- ① 研究に対する意欲
- ② 課題を発見する力
- ③ 物事を分析する力
- ④ 論理的に考える力
- ⑤ 専門に関する知識



●『実践 研究計画作成法』(第2版)

研究計画書の書き方や口頭試問の準備について学べます。

著作：JASSO

発行：株式会社凡人社(日本国内での販売)

※日本留学促進資料公開拠点(P.44参照)にて閲覧可能です。

論文検索



CiNii Articles

<https://cir.nii.ac.jp/>



3-1. 学校を探そう！

 大学院情報検索 (日本留学情報サイト)
https://www.studyinjapan.go.jp/ja/search-for-schools/school_search.php



 大学院検索 (JAPAN STUDY SUPPORT)
<https://www.jpss.jp/ja/>



3-2. 指導教員を探そう！

指導教員とは履修計画や研究の指導をしてくれる教員のことで、基本的には自分で探す必要があります。学校によっては、出願の前に指導教員を探し、予め、受け入れの内諾を得ておく必要があります。

<指導教員の探し方>

- ・ 出身大学の教員から紹介してもらう
- ・ 学会誌、元日本留学生、自国の研究者等から情報を得る
- ・ ウェブサイト等
- ・ 志望大学から紹介してもらう



先輩の声

指導教員は、学生生活を送るうえで非常に重要です。
 先輩などから、できるだけ指導教員に関する情報をもらい、
 自分にマッチしているかよく検討してください。

研究者検索

 researchmap
<https://researchmap.jp/researchers>



<教員や大学と連絡を取る場合>

これまでのあなたの研究成果や今後の研究計画、その教員を選んだ理由等を具体的に明記し、できればあなたの出身大学の教員等の推薦状をつけるのがよいでしょう。相手はあなたのことを書面からでしか判断できないので、何回もやりとりを重ね、あなたの熱意を伝える必要があります。

教員へのメールの書き方については、前掲の『実践 研究計画作成法』で学ぶことができます。

4-1. 出願書類を確認しよう！

大学院正規課程へ進学する際に、直接、正規課程への受験を認めている大学院もあれば、「研究生」の課程を経てから、大学院正規課程に進むことが望ましいとしている大学院もあります。

- ① 入学願書 (大学院所定のもの)
- ② 大学学部卒業 (見込) 証明書
- ③ 修士学位取得 (見込) 証明書 (博士課程の場合)
- ④ 最終学校の成績証明書
- ⑤ 推薦状
- ⑥ 出身大学における研究 (卒業) 論文とその要旨
- ⑦ 研究計画書
- ⑧ その他

学校によって提出書類は異なり、また日本語が英語の翻訳を求められる場合があるので、詳しくは志望校に直接問い合わせましょう。



ワンポイントアドバイス

研究生 (Research student) とは？

研究生とは次のような非正規の学生に与えられる身分です。

- ① 学位の取得を目的とせず、短期間の研究活動のために在籍している者 (主に大学院レベル)
- ② 大学間交流協定等に基づく短期留学生として在籍している者 (学部・大学院)
- ③ 大学院正規課程の入学への準備期間として在籍している者 (主に学部を修了した者)

選考：書類選考が主ですが、面接を課す場合もあります。

在留資格：専ら聴講による研究生として「留学」の在留資格を得るためには、1週間につき10時間以上聴講することが必要です。その他、聴講によらず無報酬で研究を行う研究生は「文化活動」の在留資格に該当します。

4-2. 出願時期を確認しよう！

6月～1月くらいの間に募集する場合があります。入学時期は4月である場合が多いですが、9月入学や10月入学を実施している学校もあります。

●専門職大学院とは？

科学技術の進展や社会・経済のグローバル化に伴う、社会的・国際的に活躍できる高度専門職業人の養成に目的を特化した課程です。

法曹（法科大学院）、教員養成（教職大学院）、会計、ビジネス・MOT（技術経営）、公共政策、公衆衛生などの多様な分野で開設されています。

4-3. 入学試験を確認しよう！

次のような項目を複数組み合わせで選考します。学校によって試験の方法が異なるので、学校のウェブサイト等で確認しましょう。

- ① 書類審査（出願書類）
- ② 学力検査（専攻または指定科目の筆記試験）
- ③ 面接（直接またはオンライン）
- ④ 小論文・作文
- ⑤ 専攻科目に関する口頭試問（直接または電話等）

5. 修了するには？

課程	取得学位	標準修業年限	取得単位	修了要件
博士課程	博士	5年	30単位以上 （修士課程における取得単位を含む）	博士論文の審査及び試験に合格
修士課程	修士	2年	30単位以上	修士論文の審査及び試験に合格
専門職学位課程	修士（専門職）	1～2年	30単位以上	
	法務博士（専門職）	3年	93単位以上	
	教職修士（専門職）	2年	45単位以上	

※ 大学院博士課程は前期課程（2年）と後期課程（3年）に分かれている場合があります。

※ 学士課程の修業年限が6年である医学・歯学・獣医学・6年制の薬学部は、修士課程はなく、博士課程の修業年限が4年です。



英語による学位取得コース

日本の大学のグローバル化に伴い、大学や大学院では、日本語学習が障壁とならない「英語による授業のみで学位を取得できるプログラム」が増えてきています。

1. 学校を探そう！

 **英語で学位取得可能な課程検索 (日本留学情報サイト)**
https://www.studyinJapan.go.jp/ja/search-for-schools/school_search.php



 **大学・短期大学検索 (JAPAN STUDY SUPPORT)**
<https://www.jpss.jp/ja/>



2. 出願書類を確認しよう！

通常書類のほか、以下の提出が必要なことが多いです。

- ① 英語能力証明書 (TOEFL®、IELTS 等の公的試験の成績証明書)
- ② 学力証明書 (学部の場合は、日本留学試験 (EJU)、SAT、自国の高校卒業統一試験等の成績証明書)

3. 入学試験を確認しよう！

日本語で学ぶコースに比べ、英語能力の評価を重視した試験が行われることが多いです。学校によって試験の方法が異なるので、学校のウェブサイト等で確認しましょう。

「国際性」分野のランキング

順位	大学	設置区分	所在地	国際性%
1	立命館アジア太平洋大学	私立	大分県	99.8
2	国際基督教大学	私立	東京都	98.0
3	大阪女学院大学	私立	大阪府	94.4
4	関西外国語大学	私立	大阪府	92.0
5	宮崎国際大学	私立	宮崎県	91.4
6	創価大学	私立	東京都	90.8
7	京都外国語大学	私立	京都府	90.6
8	上智大学	私立	東京都	89.8
9	麗澤大学	私立	千葉県	89.2
10	福岡女子大学	公立	福岡県	88.9

※「外国人学生比率」「外国人教員比率」「外国語で行われている講座の比率」「日本人学生の留学比率」から算出
 出典：THE日本大学ランキング2023

「外国語で行われている授業の比率」が高い大学 ※外国語の授業は除く

順位	大学	設置区分	所在地	%
1	立命館アジア太平洋大学	私立	大分県	77.8
2	国際教養大学	公立	秋田県	75.2
3	東京工業大学 (現在の東京科学大学)	国立	東京都	55.8
4	会津大学	公立	福島県	46.2
5	国際基督教大学	私立	東京都	42.2
6	東京医科歯科大学 (現在の東京科学大学)	国立	東京都	41.0
7	名古屋大学	国立	愛知県	37.1
8	長岡技術科学大学	国立	新潟県	36.2
9	広島大学	国立	広島県	35.9
10	金沢大学	国立	石川県	34.6

出典：THE日本大学ランキング2021



ワンポイントアドバイス

日本語も学びたい！

大学によっては、留学生のための日本語教育プログラムを設けていることがあります。ただし、単位が認められる場合と、認められない場合があります。また、別途受講料が必要な場合もあります。



先輩の声

英語による授業のみで学位取得できるコースに入る場合でも、日本語の日常会話やひらがな・カタカナを勉強しておくと、日本での生活がしやすくなり、就職にも便利です。

また、一部の国ではビザの取得に日本語の学習経験が求められることがありますので、学校に出願書類を確認しましょう。

<必要な英語能力の目安>

	TOEFL iBT	IELTS
大学院	75-80	6
学部	71-80	5.5-6

短期留学・編入学

1. 短期留学について確認しよう！

「短期留学」とは、学位取得を目的としない「非正規生」として、おおむね数週間から1学年間の留学をすることです。

授業の言語：日本語で行う場合、英語で行う場合、日本語と英語を両方使う場合があります。

プログラムの形態：短期留学生のための特別クラスを設けている場合や、一般の学部・学科内の授業を履修する場合等さまざまです。

短期留学は、特徴から以下の5つに分けられます。

	概要	単位	学費の支払先	問い合わせ
①交換留学	学生交流協定を結んでいる大学に留学する制度です。	留学先校で取得した単位は、交流協定の範囲内で在籍校の単位として認められるのが一般的です。	通常、在籍校（留学先大学の学費は免除）	母国の在籍校
②「交換留学」以外のプログラム	学生交流協定校以外の留学生も参加できるプログラムもあります。	プログラムによって、単位が取得できる場合とできない場合があります。	通常、留学先校	日本の留学先大学
③研究生*	大学を卒業した人であれば、「研究生」として6ヵ月または1年、大学院で専門の研究をすることができる制度です。	取得できません。	留学先校	日本の留学先大学
④聴講生*	授業科目の「聴講」を目的とした制度です。	取得できません。	留学先校	日本の留学先大学
⑤科目等履修生*	授業科目の「単位取得」を目的とした制度です。	取得できます。	留学先校	日本の留学先大学

※ 専ら聴講による研究生や、聴講生、科目等履修生として在留資格「留学」を得るには、ともに「1週間に10時間以上聴講すること」と法令で定められています。その他、聴講によらず無報酬で研究を行う研究生は、「文化活動」の在留資格に該当します。

 ②の短期プログラムがある大学検索（日本留学情報サイト）
https://www.studyinjapan.go.jp/ja/search-for-schools/school_search.php



Q 短期留学のための奨学金はありますか？
A 次の奨学金があります。

①日本政府（文部科学省）奨学金 日本語・日本文化研修留学生

対象：大学学部在学し、日本語・日本文化に関する分野を専攻している学生
月額：117,000円
問い合わせ：①大使館推薦：母国の日本国公館 ②大学推薦：在籍校

②日本学生支援機構（JASSO）奨学金 海外留学支援制度（協定受入）

対象：プログラム期間が8日以上1年以内である大学間交流協定等により留学する外国人留学生
月額：80,000円
問い合わせ：現在の在籍大学等

2. 編入学・転入学について確認しよう！

編入学制度がある大学は多いものの、実施状況は以下の通り様々です。

- 毎年受け入れるとは限らない。
- すべての学部、学科で受け入れるとは限らない。
- 既に修了した年数や取得した単位がそのまま認められるとは限らない。

大学（学部）へ編入学するには、以下のうち、いずれかを満たす必要があります。

- ・短期大学（外国の短期大学を含む）又は高等専門学校を卒業した者
- ・専修学校の専門課程（文部科学大臣の定める基準を満たす課程）を修了した者
- ・文部科学大臣が指定した外国大学（短期大学相当）日本校の課程を修了した者
- ・文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む）の専攻科の課程を修了した者

※ 転入学に関する資格・要件等の設定は各大学の判断によります。

編入学・転入学制度の情報は、一般の入学試験の정보に比べて少ないです。詳細な情報は、早めに志望校に直接問い合わせましょう。

 編入学制度がある大学検索（日本留学情報サイト）
https://www.studyinjapan.go.jp/ja/search-for-schools/school_search.php



高等専門学校

高等専門学校は、「高専 (KOSEN)」と呼ばれている高等教育機関です。中学校卒業後に5年間 (商船に関する学科は5年半) の一貫した教育を行います。通常、外国人留学生は、第3学年に編入学します。国立高専は日本全国に51校55キャンパスあります。このほか、公立 (3校) や私立 (4校) の高専もあります。

1. 教育の特徴は？

- ・ 高度な理論を基礎としながら実験・実習・演習を重視した教育により、世界に通用する技術を学び、最新の科学技術にすぐに対応できる実践的技術者を養成する高等教育機関です。
- ・ 学科の多くは工学分野で、その他に船員養成を目的とした商船学科等もあります。
- ・ 5年の課程を修了した者は「準学士」の称号が取得できます。
- ・ 5年間の教育課程の上にさらに高度な教育を行う2年制の専攻科があります。
- ・ 専攻科を修了し、大学改革支援・学位授与機構 (NIAD-QE) の審査に合格すると、「学士」の学位が取得できます。

2. 編入学資格を確認しよう！

いずれかの条件を満たしている必要があります。(国立高専の場合)

- ① 外国において、学校教育における11年以上の課程 (日本の高等学校に対応する通算11年以上の課程) を修了した者及び修了見込みの者
- ② 外国における11年以上の課程修了相当の学力認定試験に合格した者及び合格見込みの者
- ③ 日本において、外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了した者及び修了見込みの者
- ④ 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者
- ⑤ 外国において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者及び取得見込みの者
- ⑥ 外国において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者
- ⑦ 国際的な評価団体 (WASC, CIS, ACSI) の認定を受けた11年の外国人学校の課程を修了した者及び修了見込みの者
- ⑧ 高等学校卒業と同等以上の学力を有すると認められる者

※①から③について、11年の課程に満たない場合は、文部科学大臣が指定する準備教育課程又は研修施設における課程等を修了する必要があります。

3-1. 国費留学の場合

日本政府 (文部科学省) 奨学金の奨学生に採用されて留学する場合は、あなたの国にある日本の在外公館を通じて申し込みます。募集を行っていない国・地域もありますので、あなたの国にある日本の在外公館で確認してください。

3-2. 私費留学の場合

① 出願書類

国立高専は、国立高等専門学校機構で共同選抜試験を実施しており、出願書類は統一されています。国立高等専門学校機構のウェブサイトを確認しましょう。

公立または私立の高専に出願する場合は、それぞれの学校の募集要項を確認し手続きします。

② 入学試験 (国立高専の場合)

以下の項目を総合的に評価して合否判定を行います。

- ① 出願書類
- ② 高等学校等の卒業 (修了) 証明書・成績証明書
- ③ 日本留学試験 (EJU) 結果
- ④ TOEFL®, IELTS, TOEIC® L&Rいずれかの成績
- ⑤ 面接の評価 (オンラインで実施)



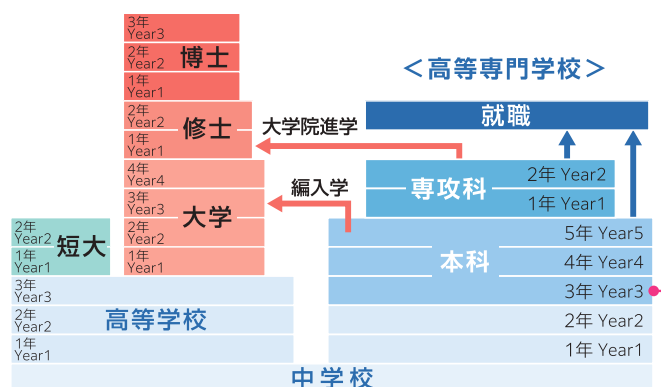
国立高等専門学校機構

<https://www.kosen-k.go.jp/>



4. 卒業後の進路は？

高専 (本科) を卒業した後は、企業に就職し、高専で身につけた知識や技術を生かして、研究開発・生産管理・生産現場等で活躍する道と専攻科への進学や大学への編入学により専門的な知識・技術をさらに高める道を選択することができますなど、多彩な進路が広がっています。



※留学生は主に高専の第3学年に編入学します。

専門学校（専修学校専門課程）

「専門学校」は、高等教育機関のひとつで、専門課程と呼ばれるコースを持つ専修学校のことを指します。職業や実生活に必要な知識、技術、技能の習得、教養の向上を目的とした教育機関です。「専門士」の称号が取得可能な、修業年限が2年以上のコースのほか、より高度な職業スキル習得を目指す「高度専門士」の称号が取得可能な、修業年限が4年以上のコースもあります。

1. 教育の特徴は？

専門学校は、①医療、②工業・農業、③文化・教養、④商業実務、⑤衛生（栄養・調理・製菓など）、⑥衛生（美容・理容など）、⑦教育・社会福祉、⑧服飾・家政と大きく分けて8つの分野に分かれています。

例えば、次のような職業につくために必要な学習ができます。

インテリアデザイナー、建築士、システムエンジニア、自動車整備士、看護師、栄養士、シェフ、パティシエ、美容師、公認会計士、通訳・翻訳、フライトアテンダント、ホテルスタッフ、保育士、ホームヘルパー、ファッションデザイナー、アニメーター、映画監督、演出家、ゲームクリエイター、ジュエリーデザイナーなど。

仕事に必要な知識、技術、資格等が習得でき、卒業後は日本で就職し、活躍しています。

2. 必要な日本語能力を確認しよう！

専門学校の授業は、日本語で行われるため、日本語能力が求められます。

次のいずれかを満たす必要があります。

- ① 法務大臣が告示をもって定める日本語教育機関又は、認定日本語教育機関で、一年以上の日本語教育を受けた者
- ② 日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）のN1またはN2に合格した者
- ③ 日本の小学校、中学校、または高等学校において1年以上の教育を受けた者
- ④ 日本留学試験（EJU）〔日本語科目（読解及び聴解・聴読解の合計）〕200点以上の取得者
- ⑤ 日本漢字能力検定協会が実施するBJTビジネス日本語能力テスト400点以上の取得者

3. 入学資格を確認しよう！

いずれかの条件を満たしている必要があります。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者
- ② 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、18歳に達した者
- ③ 日本において、外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了した者
- ④ 外国において、11年以上の、文部科学大臣に指定された課程を修了した者
- ⑤ 国際バカロレア、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア資格を保有するかGCE Aレベル試験について、学校が個別に定める成績を満たした者
- ⑥ 日本において設置された、国際的な評価団体＜WASC、CIS、ACSI＞の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験に合格し、18歳に達した者
- ⑧ 学校において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者
- ⑨ 学校教育法に定める上記以外の入学資格のいずれかの条件を満たす者
※ ①～③について、12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程又は研修施設の課程等を修了する必要があります。

 文部科学省/専修学校専門課程（専門学校）の入学資格

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1280727_1.htm



4. 学校を探そう！

専門学校を選ぶポイント

① 正式な認可校	所轄をする都道府県知事の認可を受けている学校か？ 無認可校では「専門士」の称号は得られません。
② 教育内容・教員数	身につけたい知識や技術が習得できるカリキュラムか？ 学生数と教員数の割合は？
③ 施設・設備	技術等が習得できる施設や設備は整っているか？
④ 就職指導体制 卒業生の進路	就職についてのサポートは？ 卒業生の就職先は？ 希望の職種に就職できるか？
⑤ 学費・奨学金	卒業までの総額は？ 奨学金や学費の減免制度はあるか？



 東京都内にある専門学校検索 (東京都専修学校各種学校協会)
<https://tsk.or.jp/>



 留学生を受け入れている専門学校検索 (職業教育・キャリア教育財団)
<https://study-japan-ptc.jp/search/>



ワンポイントアドバイス

職業実践専門課程

専門学校の中には、企業等と連携し、最新の知識や技術を学ぶことができる「職業実践専門課程」を設置している学校があります。「職業実践専門課程」で学んだ留学生がスキルを活かして日本で就職しやすくなるよう日本政府では様々な取り組みを行っています。

5. 出願書類を確認しよう！

- ① 入学願書 (学校所定のもの)
- ② 高等学校の卒業証明書
- ③ 最終学校の成績証明書
- ④ 日本語教育機関出席率・成績証明書 (日本国内在住の場合)
- ⑤ 日本語能力証明書 (海外在住の場合)
- ⑥ その他

学校によって出願書類は異なり、また、日本語か英語での翻訳を求められる場合があるので、詳しくは志望校に直接問い合わせましょう。

6. 入学試験を確認しよう！

①書類審査、②学力審査、③面接、④作文、⑤適正検査、⑥実技試験、⑦日本語科目試験等を複数組み合わせで行います。

入学試験では、いずれの分野でも①目的意識 ②入学後の授業についていける日本語能力及び学力の有無 ③勉強する意欲を中心に選考されます。

7. 専門士と高度専門士の違い

	専門士	高度専門士
① 修業年限	2年以上	4年以上
② 授業時間	1,700 時間62単位以上	3,400 時間124単位以上
③ 修了認定	試験等により成績を評価し課程修了の認定を行う	
④ 課程編成	—	体系的に教育課程が編成されていること
⑤ 卒業後の進路	「専門士」を得られる学科は、大学編入学を認められる	「高度専門士」を得られる学科は、大学院への入学資格を認められる

 専門学校情報
(職業教育・キャリア教育財団)
https://study-japan-ptc.jp/top_ja.html



日本語教育機関

日本語を母語としない人を対象に日本語を教える機関です。

日本の高等教育機関に進学し、日本語で講義を受けたり、レポートの作成ができる日本語力を身につけるコースや、日本語の日常会話や生活に必要な日本語、日本で仕事をするために必要な日本語を学ぶコースなどそれぞれの学習の目的に合わせたコースがあります。

日本の大学等では日本語で授業が行われることが多く、授業についていくためには、「日本語教育の参照枠」(※1) B2相当以上のレベルの日本語能力(日本語能力試験N1かN2程度の能力)が必要です。これは700～1070時間程度以上勉強したレベルと言われています。

※1 文部科学省は「日本語教育の参照枠」として、ヨーロッパ言語参照枠(CEFR)を参考に、日本語能力の熟達度の6つのレベル(A1～C2)等を示しています。

1. 種類を確認しよう！

日本語を勉強できる機関は大きく分けて3種類あります。

1. 日本語学校

学校法人や株式会社等が設置している学校です。基本的な日本語習得だけでなく、進学のためのコース、ビジネス日本語コースなど多彩なコースがあります。また学習期間も数週間程度の短期間から最長2年間と幅広く設けられています。

2. 専修学校日本語科

各都道府県知事により認可されている専修学校に設置されています。基本的な日本語習得だけでなく、進学のためのコースもあります。学習期間は1年～2年です。

3. 私立大学・短期大学留学生別科

大学が設置する別科(特別の技能教育を施す目的で設置する課程)のうち、主に外国人留学生への教育を主として設置されるものを、一般に「留学生別科」と言います。

留学生別科には介護別科や国際別科、日本語別科等様々な種類があり、学習できることが学校によって異なりますが、留学生別科の多くでは大学等への進学に必要な日本語教育や基礎科目の学習、日本文化教育等が行われています。学習期間は1年～2年です。

● 準備教育課程

日本の大学等へ進学するためには、正規学校教育の12年目の課程を修了している必要があります。あなたの国の中等教育修了までの期間が12年に満たない場合、文部科学省が指定した「準備教育課程」を修了することで、大学への出願資格を得ることができます。(日本の教育制度P.9参照)

準備教育課程では、日本語だけでなく大学入学に必要な基礎科目も勉強します。準備教育課程を設置している日本語教育機関は文部科学省のウェブサイトに掲載されています。

i 文部科学大臣指定準備教育課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm



2. 出願・入学時期を確認しよう！

春(4月)入学	秋(10月)入学	
4月～9月	10月～2月	願書取寄せ、書類準備
9月～11月	2月～4月	出願期間
1月～3月	7月～9月	入国手続き、入学手続き
4月	10月	授業開始

※日本語学校では少数ですが、1月、7月開始のコースを持つ学校もあります。

※大学の留学生別科の秋入学は9月の場合もあります。



3. 出願書類を確認しよう！

以下は基本的な必要書類です。学校によって必要な書類、入学資格は異なりますので、詳細は志望校へ問い合わせてください。また、書類審査だけでなく、受験者本人や保護者との面接を行う場合や筆記試験を行う場合もあります。

- ① 入学願書・履歴書（学校指定）
- ② 最終学歴の卒業（見込）証明書
- ③ 最終学歴の成績証明書
- ④ 経費支弁能力を証明する書類
- ⑤ その他



ワンポイントアドバイス

転校できる？

日本語教育機関での転校は簡単にはできません。学校のウェブサイトや学校案内・学校要覧を見たり、在校生や卒業生から直接話を聞いたりして、しっかり情報収集を行い、慎重に学校を選びましょう。

4. 学校を探そう！

日本語教育機関を選ぶ際は、文部科学大臣の認定を受けた学校（認定日本語教育機関）であるかを確認しましょう。文部科学大臣は、一定の要件を満たし、適正かつ確実に日本語教育を実施できる機関を「認定日本語教育機関」として認定しています。日本において、「留学」の在留資格で専ら日本語教育を受けられるのは、留学のための課程を置く機関として認定を受けた「認定日本語教育機関」だけです。（※2）

なお、認定日本語教育機関は、専修学校の学科として設置されたり、大学における留学生別科として設置される場合もあります。

※2 2029年3月までは、法務大臣が告示をもって定める日本語教育機関や、認定日本語教育機関として認定を受けていない専修学校日本語科や大学・短期大学の留学生別科でも、「留学」の在留資格で専ら日本語教育を受けられます。

日本語教育機関を探す場合に役に立つウェブサイト

日本語教育機関認定法ポータル（文部科学省）

<https://www.nihongokyouiku.mext.go.jp/top>



一般社団法人日本語教育振興協会

<https://www.nisshinkyo.org/search>



法務省告示校一覧（法務省）

https://www.moj.go.jp/isa/applications/resources/nyuukokukanri07_00217.html



一般社団法人全国日本語学校連合会（JaLSA）

<https://jalsa.tokyo>



日本語教育機関を選ぶポイント

① 学ぶ目的	自分の学習目的に合った授業を受けることができるか？
② 留学ビザ	文部科学大臣に認可された日本語教育機関か（法務省告示校か）？
③ クラス編成	学生の日本語能力にあったレベル分けを行っているか？ 1クラスの人数は？
④ 学生の出身国割合	漢字圏からの学生が多いか？ 非漢字圏の学生に対する配慮はあるか？
⑤ 試験対策	日本留学試験（EJU）や日本語能力試験（JLPT）の対策を行っているか？ 基礎科目（英語・数学・理科・世界史・地理等）の授業があるか？
⑥ 進路指導や生活相談	進路指導や生活相談を行っているか？
⑦ 卒業生の進路	卒業生の進学先はどうか？
⑧ 学費等	授業時間数、設備等に見合った金額か？ 返金規程がウェブサイトまたは募集要項に詳しく記載されているか？
⑨ 入学試験	書類審査だけか？ 保証人や在日連絡人の面接があるか？ 日本国外での選考を行っているか？
⑩ 学校の所在地	大都市か地方か？ 気候には適応できそうか？
⑪ 住居	学校の寮や宿舎はあるか？ 住居を紹介してくれるか？

日本留学試験 (EJU)



日本留学試験 (EJU) は、外国人留学生として、日本の大学 (学部) 等に入学を希望する人の日本語力と基礎学力 (理科・総合科目・数学) を測る試験です。



日本の大学の60%以上の大学、国立大学においてはほぼ全ての大学が入学選考にEJUの成績を利用しています。

学校によっては、学部ごとに入学試験が異なる場合もあります。また、入学試験の方法が複数ある場合もありますので、希望する学部の入学試験でどのような準備が必要か早めに確認しましょう。以下のウェブサイトでは、入学試験にEJUを利用している学校のリストと出願に必要な科目を案内しています。



入学試験に日本留学試験 (EJU) を利用している学校 (利用校)

<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/examinee/use/>



1. 実施時期はいつ?

年に2回実施しています。

第1回: 6月

第2回: 11月

2. 実施会場はどこ?

日本国内: 17都道府県 日本国外: 13カ国・地域の17都市
EJU実施都市 (日本国外): インド (ニューデリー)、インドネシア (ジャカルタ、スラバヤ)、韓国 (ソウル、プサン)、スリランカ (コロンボ)、シンガポール、タイ (バンコク、チェンマイ)、台湾 (台北)、フィリピン (マニラ)、ベトナム (ハノイ、ホーチミン)、香港、マレーシア (クアラルンプール)、ミャンマー (ヤンゴン)、モンゴル (ウランバートル)

3. 出題科目は何?

志望校が指定する科目 (1科目から3科目まで) と出題言語を選択します。理科と総合科目を同時に選択することはできません。

科目	目的	時間	得点範囲	科目選択	出題言語
日本語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力 (アカデミック・ジャパニーズ) を測定する。	125分	読解、 聴解・聴読解 0~400点 記述 0~50点		日本語のみ
基礎学力	理科 日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科 (物理・化学・生物) の基礎的な学力を測定する。	80分	0~200点	物理・化学・生物から2科目選択	日本語 または 英語から 選択
	総合科目 日本の大学等での勉学に必要な文系の基礎的な学力、特に思考力、論理的能力を測定する。	80分	0~200点		
	数学 日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80分	0~200点	コース1 (文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用)、 コース2 (数学を高度に必要とする学部用) のどちらかを選択	

※総合科目はEJU独自の科目で、日本の高等学校の学習科目の「公民 (政治・経済など)」、「地理」、「歴史」を合わせた科目です。

(例) A大学募集要項 (EJU受験科目の指定)

学部等	日本語	総合科目	数学	理科			基礎学力 出題言語	有効な成績
				物理	化学	生物		
法学部	○	○	コース1				日本語	6月・11月実施分
工学部			コース2	○			他1科目 自由選択	英語 6月実施分

4. スケジュールを確認しよう！

	第1回	第2回	
① 出願	2～3月	7月	受験者は、出願期間中に所定の方法 ^{*1} で申し込み、受験料を支払う。 (出願期間は、毎年変わるので、必ず確認すること。)
② 受験票受取	5月	10月	受験票が送られてくる。 ^{*2}
③ 試験日	6月	11月	受験する。
④ 成績公表	7月	12月	ウェブサイトを確認する。 ※あなたのEJUの成績は、大学等がJASSOに直接照会(確認)します。

*1 実施都市により、郵送やオンライン申請などで申し込みます。詳しくは以下のウェブサイトで確認してみましょう！

*2 一部の国では出願時に受験票を受け取ります。

EJU出願方法

<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/examinee/procedure/application.html>



5. EJUのメリットを確認しよう！

① 奨学金の予約制度

EJUで優秀な成績を修めて、日本の大学(学部)、短期大学、高等専門学校(第3学年以上)または専門学校に正規生として入学する私費外国人留学生は、JASSOの奨学金「文部科学省外国人留学生学習奨励費(留学生受入れ促進プログラム予約制度)」の給付予約ができます。

金額：月額48,000円(2024年度)

申込方法：EJU出願時に所定の方法で申し込む。

選考方法：EJUの成績優秀者から選考

② 留学生受入れ促進プログラム予約制度

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_/shoreihi/yoyaku_eju/index.html



② 受験資格や年齢制限なし！成績の有効期間は2年間！

EJUは何回でも受験することができます。年齢制限もありません。成績の有効期間は2年(最大で過去4回分の成績が利用可能)ですが、ひとつの学校に対して提出できる成績は、そのうち1回分のみです。また、科目ごとに違う回の成績を大学等に提出することはできません。入学選考に必要なEJUの成績について、試験が実施された特定の年度や月を指定する学校もあるので必ず志望校の募集要項を確認してください。

③ 渡日前入学許可

EJUを利用して、日本に行く前に入学許可を出す学校があります。

EJUを利用して渡日前入学許可を行う学校(リスト)

<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/examinee/prearrival/>



6. EJU過去問題で勉強しよう！

① 過去問題サンプル

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/examinee/pastpaper_sample/index.html



●日本留学試験(EJU)試験問題 聴解・聴読解問題音声付



過去に出題されたEJU試験問題

著作・編集：JASSO

発行：株式会社凡人社

(日本及び韓国での販売)

※日本留学促進資料公開拠点(P.44参照)にて冊子を閲覧できます。

問い合わせ・日本留学試験について

① 日本留学試験(EJU) **EJU**

<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/>



② 日本国外での受験

<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/examinee/contact/index.html> [国外試験実施機関への問い合わせ]



① 日本国内での受験 日本留学試験(EJU)受付センター

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/about/1199657_2084.html



② 日本留学試験受験者の声

<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/examinee/voice/index.html>



日本留学に利用されている各種試験

志望校の募集要項を確認し、指定された試験を受験しましょう。

1. 日本語能力試験 (JLPT)

日本語を母語としない人を対象に、日本語能力を測定し、認定することを目的に行われる試験です。7月と12月に、日本国内外で実施されます。

日本語能力検定試験は、N1、N2、N3、N4、N5の5段階のレベルがあり、N1が最も高いレベルです。N1は、生活の幅広い場面で使われる日本語を理解できるレベルです。日本の大学や専門学校などで日本語で勉強する場合には、N1またはN2レベルを求められます。

①日本国内実施

公益財団法人 日本国際教育支援協会 (JEES)
(日本語能力試験受付センター／平日9:30~17:30)
TEL: (+81) 3-6686-2974

 **日本語能力試験 (JLPT 日本国内受験用)**
<https://info.jees-jlpt.jp/>



②日本国外実施

独立行政法人 国際交流基金
FAX: (+81) 3-5367-1025

 **日本語能力試験 (JLPT)**
<https://www.jlpt.jp/>



2. 大学入学共通テスト

日本の国公立大学や一部の私立大学 (学部) に入学を希望する日本人学生が受験します。

基礎的な学力を幅広く評価するため、国語、地理歴史、公民、数学、理科 (物理、化学、生物など)、外国語 (英語、中国語、韓国語など) の科目で年1回実施されます。

外国人留学生に対しては、ほとんどの大学は受験を必要としていませんが、一部の大学の学部 (主として医学部、歯学部) に出願する場合には受験を必要とする学校があります。

 **大学入学共通テスト (独立行政法人大学入試センター)**
<https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/>



3. 日本留学に利用されている その他の試験

●英語能力を証明するもの

TOEFL®, IELTS, TOEIC®, 実用技能英語検定 (英検)

●中等教育 (高等学校等) 修了の学力を証明するもの

SAT, ACT, International Baccalaureate Exams, 自国の大学入学統一試験等の成績



ワンポイントアドバイス

日本の多くの大学では、出願時に英語能力の証明書の提出が必要です。

出願時に成績が提出できるよう、試験スケジュールを早めを確認し、受験しておきましょう。



日本留学促進のための 海外ネットワーク機能強化事業

文部科学省では、日本留学の魅力を発信する日本留学海外拠点を世界各地に配置しています。各拠点では、各地域における「日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業」の委託を受けた下記の大学を中心に、日本留学に関する情報発信や優秀な留学生獲得に向けた留学フェアや学校訪問を行い、学生のリクルーティングから帰国後のフォローアップまでを一体的に促進する活動を行っています。

中東・北アフリカ地域：九州大学

アフガニスタン、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン、アルジェリア、エジプト、チュニジア、モロッコ、リビア

<https://jmena.jp/ja/>



CIS (中央アジア・コーカサス) 地域：筑波大学

ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ベラルーシ、モルドバ、アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア

東南アジア (ASEAN) 地域：岡山大学

インドネシア、マレーシア、ミャンマー、タイ、カンボジア、ラオス、ベトナム、フィリピン、シンガポール、ブルネイ

<https://studyin-japan-asean.jp/index.php?lg=ja&page=>



南西アジア地域：東京大学

インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ

アフリカ (サブサハラ地域)：秋田大学

南アフリカ、ケニア、ナイジェリア、ボツワナ、ガーナ、タンザニア、ウガンダ、ルワンダ、ザンビア、エチオピア、コートジボワール、ジンバブエ、セネガル、モザンビーク、マダガスカル

<https://www.studyin-japan-for-africa.com/about-us/contact-us/>



南米地域：筑波大学

アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア

<https://es.estudenojapao.com/>
<https://www.estudenojapao.com/>



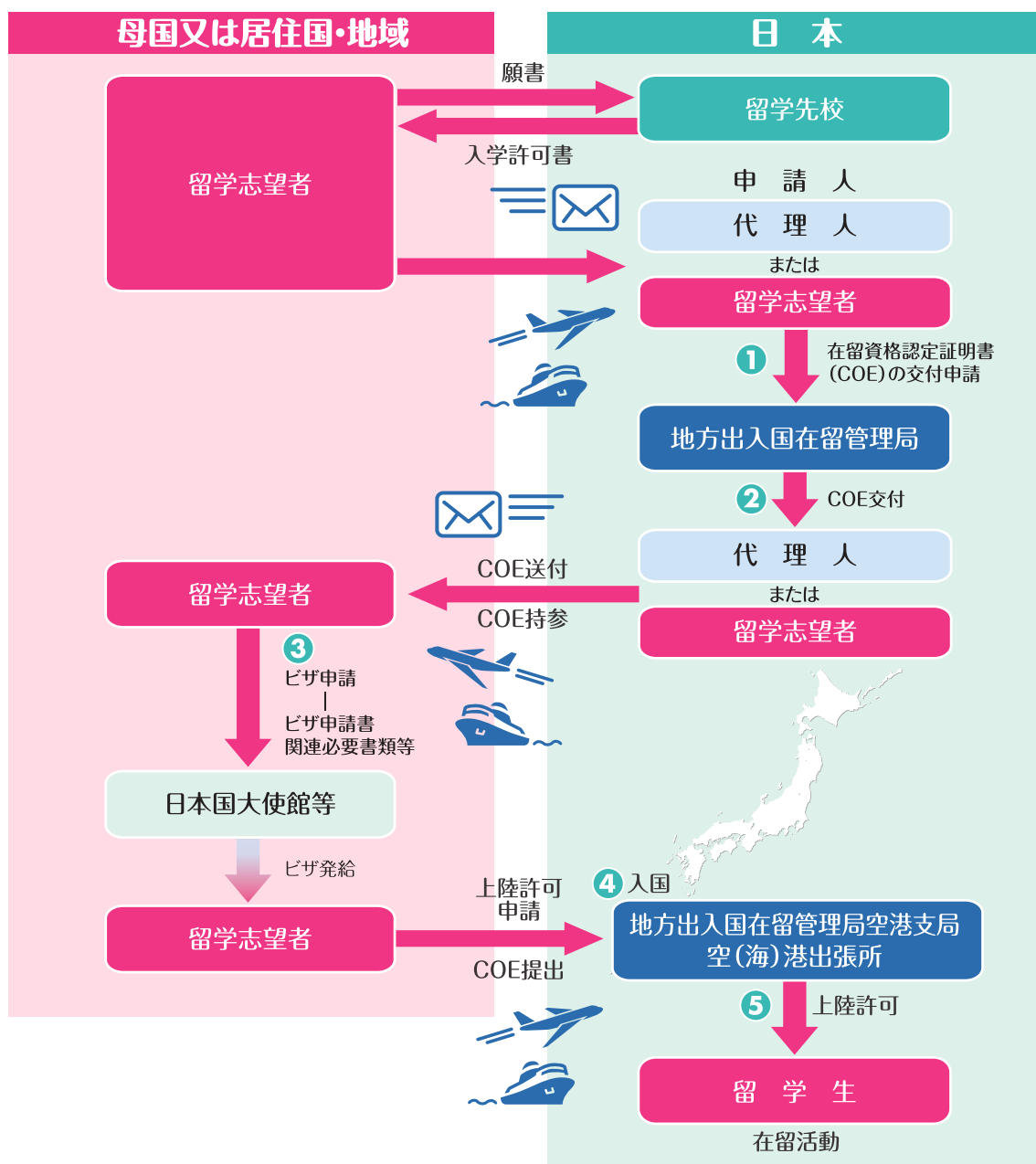
入国手続

 法務省出入国在留管理庁 <http://www.moj.go.jp/isa/index.html>

ビザ(査証)と在留資格

日本に入国するためには、あらかじめ、入国目的に応じた「ビザ(査証)」の発給を受けていなければなりません。また、外国人が来日する目的や、身分または地位によって、在留資格が決められています。

日本の大学、短期大学、高等専門学校、専門学校、日本語教育機関等で学ぶための在留資格は「留学」です。留学の在留期間は、4年3ヵ月、4年、3年3ヵ月、3年、2年3ヵ月、2年、1年3ヵ月、1年、6ヵ月または3ヵ月です。



1. 在留資格認定証明書 (COE) の交付申請

「在留資格認定証明書 (COE)」は、留学志望者本人 (申請人) または代理人 (申請者の親族や受入れ教育機関の職員等) が、日本国内の地方出入国在留管理局に申請します。

※多くの場合、受入れ教育機関が代理で申請します。

※必要書類は学校に問い合わせてください。

2. 日本に滞在するための経費支弁能力を証する書類

在留資格認定証明書 (COE)、ビザ等の申請の際、あなたの日本留学中に発生する経費が十分に準備されていることが証明できる証拠を提出するよう、求められることがあります。

●必要書類・・・経費支弁者 (留学志望者本人または保護者) の預金残高証明書、過去数年間の収入証明書、課税証明書等

3. ビザの申請

在留資格認定証明書 (COE) が交付されたら、母国又は居住国・地域の日本国大使館等でビザを申請します。

●必要書類・・・① パスポート (旅券)
② ビザ申請書
③ 写真
④ 在留資格認定証明書 (COE) ※写しも可
⑤ その他

4. 日本への入国

入国時には次の書類が必要です。

●必要書類・・・① パスポート (旅券)
② 日本国大使館等からのビザ
③ 在留資格認定証明書 (COE)
(交付を受けた場合) ※写しも可

5. 在留カード

在留期間が3ヵ月を超える外国人には、「在留カード (RESIDENCE CARD)」が交付されます。在留カードは常に携帯しなければなりません。

【在留カードの交付】

新千歳・成田・羽田・中部・関西・広島・福岡空港から入国する場合：
入国審査時に、旅券に「上陸許可」の証印シールが貼付され、在留カードが交付されます。日本での住居地が決まったら、14日以内に、在留カードを持参のうえ、住居地の市区町村の役所の窓口へ住民登録に行きます。

上記の空港以外から入国した場合：

入国審査時に、旅券に「上陸許可」の証印シールが貼付され、また、「在留カード後日交付」の印が押されます。日本での住居地が決まったら、14日以内に「在留カード後日交付」の印が押された旅券を持って、住居地の市区町村の役所の窓口へ行きます。住居地の市区町村の役所の窓口に住民登録の届出をした後に、在留カードが届け出た住居地に郵送されます。



在留カード

6. マイナンバー (Individual Number)

マイナンバーとは、日本で住民登録を行った全ての人に付与される番号で、1人1つの12桁の番号です。在留カードに記載されている12桁の番号とは異なります。住居地の市区町村の役所の窓口で住民登録をすると、マイナンバーを通知する『個人番号通知書』が送付されます。『個人番号通知書』は、マイナンバーを証明する書類や、身分証明書として利用することはできませんので、『個人番号通知書』を受領後、マイナンバーカードの交付申請を行ってください。

マイナンバーカードは、マイナンバーを証明したり、公的な身分証明書として使用できます。マイナンバーカードの交付申請は、郵送、スマートフォンやパソコンからのオンラインで行うことができます。

役所で手続きをするとき、アルバイトをするとき、また銀行で海外からお金を受け取ったり送金するときにも、マイナンバーの提出を求められることがあります。



通知カード

7. 受験のための渡日手続

受験のために日本に来る場合は、渡日前に、受験する学校の受験票をもって日本国大使館等で「短期滞在」ビザを取得しておく必要があります。

滞在できる期間は15日、30日または90日です。ただし、ビザ免除対象国の方はビザ申請の必要はありません。

※原則、合格後にいったん帰国して在留資格「留学」のビザを取得する必要があります。

8. 資格外活動許可

在留資格「留学」は、日本の学校で教育を受けるためのものであり、働くことは認められません。ただし、地方出入国在留管理局等で、手続きを行い、「資格外活動許可」を受けることによって、アルバイトをすることができます。(P.36参照)

※新規入国者で、かつ「留学」の在留資格で3ヵ月を超える在留期間が決定された人は、上陸許可時に空港等において「資格外活動許可」の申請をすることができます。

※来日後に「資格外活動許可」の申請をする場合、地方出入国在留管理局等で申請します。

9. 一時帰国手続

留学生が、一時帰国したり他国へ行く場合は、出国前に地方出入国在留管理局等で再入国許可を受けておく必要があります。

ただし、有効な旅券及び在留カードを所持して、みなし再入国許可による出国(出国の日から1年以内又は在留期間の満了の日が出国の日から1年を経過する日の前に到来する場合は、在留期間の満了までの期間に再入国する)を希望する場合には、出国前に地方出入国在留管理局等で再入国許可を取得する必要はありません。

10. 在留期間の更新

入国の時に決められた在留期間の満了日を超えて引き続き滞在する場合には、地方出入国在留管理局等で在留期間更新許可の申請をしなければなりません(通常、期間満了の3ヵ月前から受付)。

在留期間の満了日を超えて不法に滞在すると、処罰されたり強制退去になります。



更新を忘れて不法滞在になると、退学になったり、奨学金がもらえなくなることがあります。

再入国出国用EDカード



出国する際に、必ず在留カードを提示するとともに、再入国出国用EDカードの所定の欄にチェックしてください。

11. 在留資格の変更

今行っている活動(留学)をやめて、他の在留資格にあたる活動(就職等)を行おうとする時は、地方出入国在留管理局等で在留資格の変更許可を受けなければなりません。



許可を受けずに収入を伴う事業をしたり、報酬を受ける活動を行うと、処罰されたり強制退去になります。

12. 在留資格の取消し

申請者が行おうとする活動や経歴を偽ったり、偽造書類を提出した場合等は、在留資格が取り消されます。



在留資格「留学」であるにもかかわらず、学校に行かず働いているなどの場合も、正当な理由がある場合を除いて、在留資格取消しの対象となります。

13. 家族の呼び寄せ

あなたが「留学」の在留資格で、大学等に通っている場合、留学生の扶養を受ける配偶者または子どもは、その在留期間に応じ「家族滞在」の在留資格で、日本に滞在することができます。

日本の生活に慣れ、経済的な面を含めて準備ができてから家族を呼び寄せるようにしましょう。



扶養家族が「短期滞在 (Temporary visitor)」(通称「観光ビザ」) で入国した場合、日本国内で「家族滞在 (Dependent)」の在留資格に変更することは難しいので十分に注意してください。

14. 出入国在留管理庁・市区町村役場への届出・申請

以下の場合にはただちに届出や申請をしてください。

- ・地方出入国在留管理官署

氏名、性別、生年月日、国籍・地域が変わったとき、在留カードを紛失・汚損等したとき、転校・進学や卒業・退学等したとき

- ・市区町村役場

住居地が変わったとき、留学を終えて帰国するとき

留学に必要な経費

留学前から留学初年度にかかる留学費用の総額を具体的に計算し、自己資金を含めたしっかりした資金計画を立てることは、留学後の安定した生活につながります。奨学金やアルバイトばかりをあてにするなど、無理のある留学計画にならないよう、留学に必要な経費を計算してみましょう。

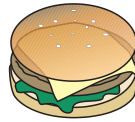
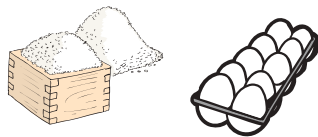
		目安額(国立4年制大学)		あなたの必要額を 計算してみよう!
出願前に 必要な経費	各種試験の受験料 EJU、JLPT、TOEFL®等	¥38,000	国内でEJU(2科目以上)を 2回受ける場合	
	志望校の入学試験検定料	¥17,000	国立大学を1回受ける場合	
	健康診断受診料 (学校による)	¥6,000	国によって異なる	
	出願書類の郵送費用 (学校による)	¥2,000	国によって異なる	
入学試験受験の ための経費	航空賃及び滞在費 (渡日前入学以外のみ必要)	¥100,000	国や滞在日程によって異なる	
	パスポート(旅券)申請費	¥12,000	国によって異なる	
	ビザ手数料	¥3,000	国によって異なる	
入学決定後に 必要な費用	渡航費	¥70,000	国によって異なる	
	滞在費 (住居が決まるまでのホテル代)	¥30,000	滞在日程によって異なる	
	入学金	¥282,000	国立大学(一部例外あり)	
	初年度の授業料等	¥535,800	国立大学(一部例外あり)	
	通学費	¥48,000	令和5年度私費外国人 留学生生活実態調査より 12ヵ月分を計算	
	食費	¥384,000		
	住居費	¥492,000		
	光熱費(電気・ガス・水道)	¥96,000		
	保険・医療費	¥36,000		
	趣味・娯楽費	¥96,000		
	雑費	¥108,000		
	合計	¥2,355,800		

生活費・物価

1. 物価を確認しよう！

主な商品の物価

米 (5kg)	2,650円	(16.8米ドル)
食パン (1kg)	511円	(3.2米ドル)
牛乳 (1,000ml)	253円	(1.6米ドル)
鶏卵 (10個)	264円	(1.7米ドル)
りんご (1kg)	1,039円	(6.6米ドル)
キャベツ (1kg)	178円	(1.1米ドル)



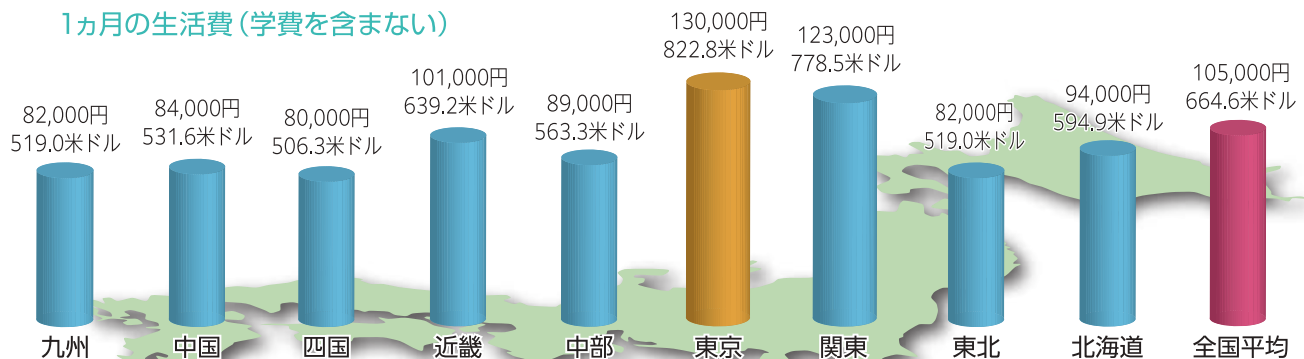
炭酸飲料 (1Lペットボトル)	236円	(1.5米ドル)
ハンバーガー	233円	(1.5米ドル)
自動車ガソリン (1L)	176円	(1.1米ドル)
トイレトペーパー (1,000m)	799円	(5.1米ドル)
ヘアカット	3,737円	(23.7米ドル)
タクシー (4km)	1,693円	(10.7米ドル)

出典：「政府統計の総合窓口」
1米ドル=158円で計算

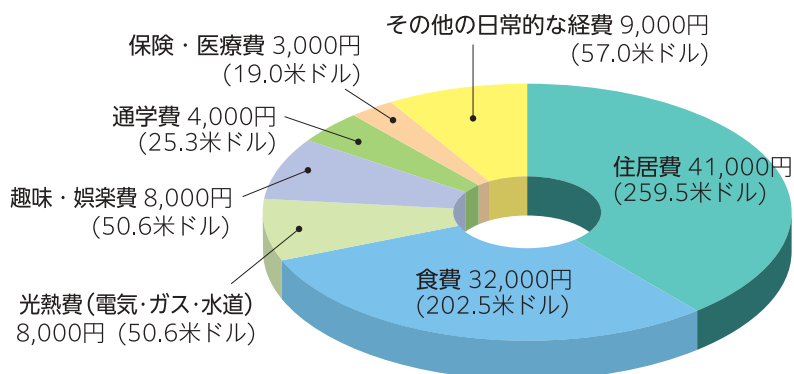
2. 生活費を確認しよう！

外国人留学生の1ヵ月の生活費 (学費を含まない) は次のとおりです。
大都市の生活費は、地方に比べて高いです。

1ヵ月の生活費 (学費を含まない)



1ヵ月の支出項目別内訳 (学費を含まない) (全国平均)



居住地域別 住居費 ※1米ドル=158円で計算

	日本円	米ドル
全国平均	41,000	259.5
北海道	34,000	215.2
東北	26,000	164.6
関東	51,000	322.8
東京	57,000	360.8
中部	30,000	189.9
近畿	40,000	253.2
中国	26,000	164.6
四国	27,000	170.9
九州	29,000	183.5

出典：「令和5年度私費外国人留学生生活実態調査」(JASSO)

学費

日本の学校の学費はアメリカやイギリスの大学と比べても高くはありません。日本の学部・1年間の入学金と授業料等の合計は、**国立大学では、82万円(5,200米ドル)程度※、公立大学では、91万円(5,800米ドル)程度、私立大学では114万円(7,200米ドル)から164万円(10,400米ドル)程度となります(医学部・歯学部・薬学部除く)**。また、**奨学金制度や授業料免除・減免制度もあります**。

初年度学費には、入学金、授業料、施設・設備費等が必要です。なお、入学金は初年度のみ必要です。

※国立大学の一部に例外あり

初年度学費平均 (1米ドル=158円で計算)

●大学院

大学院	入学金(初年度のみ)	授業料等	初年度合計		卒業までの全体額※1	
			円	米ドル	円	米ドル
国立(修士課程)	282,000	535,800	817,800	5,176	1,353,600	8,567
公立(修士課程)	364,864	536,789	901,653	5,707	1,438,442	9,104
私立(修士課程)	芸術	224,531	1,215,974	9,117	2,656,479	16,813
	工学	200,251	971,940	1,172,191	2,144,131	13,570
	保健	229,022	836,175	1,065,197	1,901,372	12,034
	理学	195,731	888,895	1,084,626	1,973,521	12,491
	農学・獣医学	212,466	808,128	1,020,594	1,828,722	11,574
	薬学	195,545	831,007	1,026,552	1,857,559	11,757
	家政	225,459	727,851	953,310	1,681,161	10,640
	教養	206,152	711,706	917,858	1,629,564	10,314
	社会科学	197,938	878,368	1,076,306	1,954,674	12,371
	医学	186,326	676,568	862,894	1,539,462	9,743
私立(博士課程)	人文科学	196,450	650,254	846,704	1,496,958	9,474
	国立(博士課程)	282,000	535,800	817,800	1,889,400	11,958
	公立(博士課程)	364,864	536,789	901,653	1,975,231	12,501
	芸術	247,241	1,112,056	1,359,297	3,583,409	22,680
	工学	182,994	774,368	957,362	2,506,098	15,861
	保健	238,450	796,220	1,034,670	2,627,110	16,627
	理学	199,209	750,809	950,018	2,451,636	15,517
	農学・獣医学	212,376	811,982	1,024,358	2,648,322	16,762
	薬学	187,239	683,492	870,731	2,237,715	14,163
	家政	213,434	721,730	935,164	2,378,624	15,055
私立(博士課程)	教養	216,720	632,590	849,310	2,114,490	13,383
	社会科学	193,934	611,798	805,732	2,029,328	12,844
	医学	168,127	531,026	699,153	1,761,205	11,147
	歯学	232,075	669,670	901,745	2,241,085	14,184
	人文科学	196,341	575,525	771,866	1,922,916	12,170

※1 卒業までの全体額 修士課程は入学金と2年分の授業料等と、博士課程は入学金と3年分の授業料等として計算
上記の他、施設設備・研究費等が必要な場合がある。

●大学学部

大学学部	入学金(初年度のみ)	授業料等	初年度合計		卒業までの全体額※2	
			円	米ドル	円	米ドル
国立	282,000	535,800	817,800	5,176	2,425,200	15,349
公立	374,371	536,191	910,562	5,763	2,519,135	15,944
私立	医学	1,360,098	3,719,336	5,079,434	23,676,114	149,849
	歯学	594,849	3,786,859	4,381,708	23,316,003	147,570
	薬学	332,681	1,743,389	2,076,070	10,793,015	68,310
	芸術	239,945	1,401,501	1,641,446	5,845,949	37,000
	保健	262,142	1,239,657	1,501,799	5,220,770	33,043
	理学・工学	223,534	1,257,556	1,481,090	5,253,758	33,252
	農学・獣医学	250,752	1,233,014	1,483,766	5,182,808	32,803
	体育	240,072	1,065,553	1,305,625	4,502,284	28,495
	家政	240,020	1,017,093	1,257,113	4,308,392	27,268
	文学・教育学	223,686	987,335	1,211,021	4,173,026	26,412
	社会福祉	218,549	963,816	1,182,365	4,073,813	25,784
	法学・商学・経済	224,364	960,039	1,184,403	4,064,520	25,725
	神学・仏教	220,745	923,350	1,144,095	3,914,145	24,773

※2 私立医歯薬は、入学金と6年分の授業料等として計算、他は入学金と4年分の授業料等として計算
上記の他、施設設備・研究費等が必要な場合がある。

●短期大学

短期大学		入学金(初年度のみ)	授業料等	初年度合計		卒業までの全体額 ^{※3}	
		円	円	円	米ドル	円	米ドル
公立		225,050	377,357	602,407	3,813	979,764	6,201
私立	人文科学	229,898	879,861	1,109,759	7,024	1,989,620	12,593
	社会科学	225,124	884,953	1,110,077	7,026	1,995,030	12,627
	理学・農学	207,714	937,000	1,144,714	7,245	2,081,714	13,175
	工学	215,527	1,056,728	1,272,255	8,052	2,328,983	14,740
	教育・保育	242,064	857,759	1,099,823	6,961	1,957,582	12,390
	家政	243,106	886,843	1,129,949	7,152	2,016,792	12,765
	芸術	233,376	1,148,037	1,381,413	8,743	2,529,450	16,009
	体育	230,000	980,000	1,210,000	7,658	2,190,000	13,861
	その他	227,091	896,639	1,123,730	7,112	2,020,369	12,787

※3 入学金と2年分の授業料等として計算。上記の他、施設設備・研究費等が必要な場合がある。

●高等専門学校

高等専門学校		入学金(初年度のみ)	授業料等 ^{※4}	初年度合計		卒業までの全体額 ^{※5}	
		円	円	円	米ドル	円	米ドル
国立		84,600	234,600	319,200	2,020	788,400	4,990

※4 3年生については、条件を満たせば高等学校等就学支援金が支給されます。 ※5 入学金と3年分の授業料等として計算

●専門学校

専門学校		入学金(初年度のみ)	授業料等	初年度合計		卒業までの全体額 ^{※6}	
		円	円	円	米ドル	円	米ドル
私立	工業	209,000	1,104,000	1,313,000	8,310	2,417,000	15,297
	農業	163,000	982,000	1,145,000	7,247	2,127,000	13,462
	医療	269,000	1,244,000	1,513,000	9,576	2,757,000	17,449
	衛生	150,000	1,331,000	1,481,000	9,373	2,812,000	17,797
	教育・社会福祉	149,000	1,037,000	1,186,000	7,506	2,223,000	14,070
	商業実務	126,000	1,045,000	1,171,000	7,411	2,216,000	14,025
	服飾・家政	199,000	960,000	1,159,000	7,335	2,119,000	13,411
	文化・教養	152,000	1,064,000	1,216,000	7,696	2,280,000	14,430

※6 入学金と2年分の授業料等として計算。上記の他、施設設備・研究費等が必要な場合がある。 ※授業料・入学金については、各分野に該当する学科(昼間科)の平均金額で算出

●日本語教育機関

日本語学校	授業料等	
	円	米ドル
1年コース	614,800～1,113,300	3,891～7,046
1年半コース	879,200～1,597,000	5,565～10,108
2年コース	1,141,600～1,910,200	7,225～12,090

※教材費等が別途必要 出典：日本語教育振興協会調べ

※米国の授業料・大学諸経費

		1学年		卒業までの全体額 ^{※7}	
		円	米ドル	円	米ドル
米国	公立大学院(授業料及び諸経費)	1,960,780	12,410	3,921,560	24,820
	私立大学院(授業料及び諸経費)	4,202,326	26,597	8,404,652	53,194
	公立4年制大学(学費)	4,605,700	29,150	18,422,800	116,600
	私立4年制大学(学費)	6,563,320	41,540	26,253,280	166,160

※7 大学院は2年分の授業料、大学は4年分の授業料として計算
出典：アメリカ留学ガイド2025(恵文社)

1米ドル=158円で計算

※英国の授業料・大学諸経費

		1学年		卒業までの全体額 ^{※8}	
		円	ポンド	円	ポンド
英国	大学院アート・人文系コース	3,104,000～5,238,000	£ 16,000～27,000	6,208,000～10,476,000	£ 32,000～54,000
	大学院理系コース	3,298,000～5,820,000	£ 17,000～30,000	6,596,000～11,640,000	£ 34,000～60,000
	大学文系コース	3,104,000～5,238,000	£ 16,000～27,000	9,312,000～15,714,000	£ 48,000～81,000
	大学理系コース	3,298,000～5,820,000	£ 17,000～30,000	9,894,000～17,460,000	£ 51,000～90,000

※8 大学院は2年分の授業料、大学は3年分の授業料として計算
出典：イギリス留学ガイド2025(恵文社)

1ポンド=194円で計算

奨学金

奨学金には、留学に必要な全費用を支給するものは少なく、多くは生活費や授業料の一部に充てるためのものです。したがって、留学費用の総額を具体的に計算し、奨学金だけをあてにするのではなく、自己資金を含めしっかりと資金計画を立てることが必要です。

奨学金の種類を調べよう！

1. 日本政府（文部科学省）の奨学金

日本政府（文部科学省）は、1954 年から国費により外国人留学生を受け入れています。外務省（在外日本公館）または日本の大学を通じて募集します。

2. 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金

日本学生支援機構（JASSO）では、「文部科学省外国人留学生学習奨励費」、「海外留学支援制度（協定受入）奨学金」の2種類の奨学金を支給しています。

3. 地方自治体・関連国際交流団体の奨学金

日本の地方自治体・関連国際交流団体が、自治体内に住んでいる人、または自治体内の学校に在学している学生を対象に支給しているものです。

4. 民間奨学団体の奨学金

民間企業または民間奨学団体が支給しているものです。企業や団体の目的や性格を反映し、所在地域の学校を対象としたり、企業に関わる専攻分野に限定したり、交流目的の対象国・地域の学生を対象に募集することもあります。

5. 渡日前採用の奨学金

ほとんどの奨学金は日本に来てから申し込むこととなりますが、地方自治体、関連国際交流団体及び民間奨学団体の中には、日本国外から応募することができるものがあります。



奨学金のほか、学校によっては授業料減免制度（30%、50%、100%免除等）を設けている学校もあります。

対象とするレベルと団体数を調べよう！

	対 象	渡日前応募		渡日後応募
		自治体・民間	日本政府	自治体・民間
1	高等専門学校生	2	○	21
2	専修学校専門課程生	5	○	19
3	大学・短大留学生別科生	0		4
4	3以外の日本語教育機関生	1		9
5	短期大学生	4		35
6	大学学部聴講生	0		3
7	大学学部生	11	○、日本語・日本文化研修	94
8	大学院レベルの研究生	4	○、教員研修	15
9	修士課程生	15	○、YLP	117
10	博士課程生	12	○	111
11	専門職学位課程生	1	○	13

出典：日本学生支援機構

応募条件を確認しよう！

①年齢、②出身国・地域、③日本での在籍校、④専攻分野等に指定があります。



留学生対象の奨学金は、申込の際、在留資格が「留学」であることが条件になっているものが多いです。

選考試験を確認しよう！

書類審査が主ですが、面接審査や、一般教養あるいは専門分野の知識や語学などの筆記試験を課す場合もあります。

申込方法を確認しよう！

在籍している学校を通じて申し込むものがほとんどです。（詳しくは学校の留学生担当窓口を確認してください。）

渡日前に日本国外で応募する奨学金

種類	対象または支給団体数	月額(円)	月額(米ドル)	問い合わせ先
日本政府(文部科学省)奨学金 ^{*1}	ヤング・リーダーズ・プログラム(YLP)留学生	242,000	1,532	母国の在外日本国公館、現在の在籍校 ^{*2}
	研究留学生(非正規生)	143,000	905	
	研究留学生(修士課程)	144,000	911	
	研究留学生(博士課程)	145,000	918	
	教員研修留学生	143,000	905	
	学部留学生/高等専門学校留学生/専修学校留学生/日本語・日本文化研修留学生	117,000	741	
文部科学省外国人留学生学習奨励費(留学生受入れ促進プログラム予約制度)	日本留学試験(EJU)で優秀な成績を修め、日本の大学学部、短期大学、高等専門学校(第3学年以上)又は専修学校専門課程に正規生として新規に入学する私費外国人留学生	48,000	304	日本学生支援機構(JASSO) ^{*3}
地方自治体または民間団体等の奨学金	15機関	60,000~210,000	380~1,329	各地方自治体または民間団体等 ^{*4}
校内奨学金、授業料免除・減免制度	—	—	—	進学先の学校

*1 修学・研究する地域によって奨学金の加算があります。

*2 一部の国ではお住まいの国の政府機関が窓口になっている場合があります。

*3 https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_j/shoreihi/yoyaku_eju/index.html

*4 渡日前に採用が決まるかどうかは各団体に確認しましょう。



1米ドル=158円で計算

渡日前に日本国外で応募する奨学金(大学間交流協定等による奨学金)

種類	対象または支給団体数	月額(円)	月額(米ドル)	問い合わせ先
海外留学支援制度(協定受入)	プログラム期間が8日以上1年以内である大学間交流協定等により留学する外国人留学生	80,000	506	現在の在籍大学等

渡日後に日本国内で応募する奨学金

種類	対象または支給団体数	月額(円)	月額(米ドル)	問い合わせ先
文部科学省外国人留学生学習奨励費(留学生受入れ促進プログラム)	大学院(修士課程・博士課程)/研究生(大学院レベル)/大学学部/短期大学/高等専門学校(第3学年以上)/専修学校専門課程/留学生別科/専攻科/準備教育課程	48,000	304	日本国内の在籍校
	日本語教育機関	30,000	190	
地方自治体または民間団体等の奨学金	109機関	8,000~300,000	51~1,899	日本国内の在籍校または奨学金団体
校内奨学金、授業料免除・減免制度	—	—	—	日本国内の在籍校

奨学金・授業料減免制度を探そう!

「日本留学奨学金パンフレット」(日本語版・英語版) 作成: 日本学生支援機構(JASSO)
<https://www.studyinJapan.go.jp/ja/planning/brochures/#002>



次のウェブサイトからも、奨学金情報を検索できます。

奨学金・授業料減免制度検索(日本留学情報サイト)
https://www.studyinJapan.go.jp/ja/search-for-scholarships/tuition-reduction_search.php



奨学金情報を検索(JAPAN STUDY SUPPORT)
<https://www.jpss.jp/ja/scholarship/>



ここに掲載されていない奨学金もあります。詳しくは学校に確認してください。

住居

地方自治体や学校が運営する学生寮もありますが、留学生の約70%は民間の宿舎やアパート・マンションに住んでいます。合格通知を受け取ったら、すぐに住居の情報収集をしましょう。情報収集の方法としては、①学校の留学生担当窓口、②インターネット、情報誌、③自分が住みたい地域にある不動産屋などがあります。

学生寮

メリット

- ・アパートに比べて費用が少ない
(敷金・礼金・更新料がかからない)
- ・家具・家電製品等が備え付けられている場合がある
- ・友達を作りやすい

デメリット

- ・居室数に限りがあるので、希望者全員が入居できるわけではない
- ・門限や起床時間等の規則がある
- ・台所、トイレ、風呂が共同

アパート

メリット

- ・自分の好きなように生活リズムを組み立てられる
- ・金銭感覚が身に付く

デメリット

- ・多くの場合、敷金(家賃数ヵ月分。保証金と呼んでいる地域もある。)、礼金、仲介手数料等を前払いする必要がある
- ・賃貸契約の手続が煩雑である
- ・家具・家電製品等を自分で買う必要がある



ワンポイントアドバイス

住居の費用(月額)の目安

アパート：駅の人気や駅からの距離、築年数などによって大きく異なります。地方では3～4万円程度でも探せますが、東京でアパートを探すときは、6万円以内で探すことが一つの目安となります。

部屋での騒音

日本では隣の部屋との距離が近いので、部屋で大きな音をたてたり、騒いだりすると、近隣住民とのトラブルになることがあります。
夜間には特に気を付けるようにしましょう。

ゴミ出し

日本ではゴミ捨てに厳しいルールがあり、これを守らないと、近隣住民とトラブルになることがあります。
ゴミは分別し、指定の場所や時間に出しましょう。

連帯保証人

日本では、アパートを借りる際、一般的に「連帯保証人」が必要となります。あなたが期日までに家賃を支払わなかったり、部屋の設備を壊しても修理費を支払わなかったりした場合、家主は、「連帯保証人」に支払いを要求します。

日本に知り合いが少ない留学生のために、学校関係者(機関・教職員)等が連帯保証人を引き受けてくれる制度もあります。また、「保証料」を支払う契約をすることによって、「連帯保証人」が不要になることもあります。

※留学生住宅総合補償

公益財団法人 日本国際教育支援協会が運営しており、万一の火災等に対する備えと、入居のための保証人に迷惑がかからないようにするための制度です。この制度が利用できるかは、在籍する学校が入学予定の学校の窓口にご相談ください。

部屋探しのポイント

- ① 家賃、初期費用は？
- ② 学校からの距離・通学時間は？
- ③ 部屋の広さ、設備は？
- ④ 周辺環境の利便性
(駅が近い、買い物しやすさ等)は？



医療保険・損害保険・共済

国民健康保険(国保)

日本には医療費の負担を軽減するための保険制度があります。
日本に3ヵ月以上滞在する外国人は「国民健康保険」(国保)に入らなければなりません。
※3ヵ月未満の留学生は、進学先の学校に問い合わせましょう。

■ 加入するには

あなたが住んでいる地域の市区町村の役所で住民登録してから手続きをします。

■ 保険料

通常、年額2万円程度です。ただし、市区町村やあなたの所得等によって金額は異なります。

学生に対して、保険料の減額や補助制度を設けている市区町村もありますので確認しましょう。

■ 保険の内容

けがや病気で治療を受ける時に保険証を提示すれば、医療費の総額のうち70%は国保が負担しますので、個人が払う医療費の負担は30%です。ただし、保険診療適用外の医療費は全額自己負担です。

国民健康保険に加入していると、1ヵ月の医療費が高額になったとき、自己負担限度額を超えた分が高額療養費として後から払い戻される制度があります。また、入院などするときは、事前に限度額適用認定証を申請・取得することで、病院の窓口での支払いを限度額まで抑えることができます。

損害保険・共済

国民健康保険では対応できない事故等に関して補償する保険として、傷害保険や個人賠償責任保険があり、留学生も加入することができます。
例えば、次のような場合に補償されます。

- ・揚げ物の油に火がつき、キッチンが焦げて壁を張り替えなければならなくなった
- ・自転車で歩行者にぶつかりケガをさせ、相手の治療費を負担しなければならなくなった
- ・留守中に、部屋に置いてあったパソコンやカメラが盗まれた

学校から各種保険の案内がありますので、検討してみましょう。

🔍 「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」

日本の大学の96%が加入している 公益財団法人日本国際教育支援協会の制度です。
また、補償を充実させた「インバウンド付帯学総」という制度もあります。

※学校によっては利用できないところもあるので、学校に確認してみましょう。

<https://www.jees.or.jp/gakkensai/>



🔍 「CO・OP学生総合共済(CO・OP共済)」

大学に通っているとき、加入できる場合がある大学生協の保障制度です。

<https://kyosai.univcoop.or.jp/>



アルバイト

高等教育機関の私費留学生の約65%がアルバイトをしており、1カ月あたりの平均給与は**約81,000円(513米ドル)**です。アルバイトだけでは、全ての学費や生活費をカバーできませんので、アルバイトに頼らない資金計画をたてましょう。



アルバイトをするときは、次の条件を守らなければなりません。これを破った場合、処罰されたり強制退去になります。

1. 最寄りの地方出入国在留管理局等で「資格外活動許可」を受けること。「留学」の在留資格で3ヵ月を超える人は、新規に入国する場合、上陸許可時に空港等において資格外活動許可の申請をすることができます。
2. 勉強の障害にならないこと。
3. 留学中の学費や必要経費を補う目的であって、貯金や仕送りのためではないこと。
4. 風俗営業ではないこと。※法令で禁止されています。
5. 1週28時間以内(長期休業期間中は1日8時間以内)であること。
6. 教育機関に在籍している間に行うものであること。

仕事を決める時のポイント!

留学の目的から外れたり、無理をして健康を損ねたりしないこと。

- ◎ 学業に支障はないか
夜遅くや長時間の仕事で次の日への影響はないか?
- ◎ 賃金、支払い方法
日払い、週払い、月払い、現金支給か銀行振込か?
- ◎ 仕事内容は安全か
危ない仕事でないか、工作中的の事故の保障はどうか?
アルバイトの紹介は、在籍校に聞いてみましょう。



ワンポイントアドバイス

アルバイトのために学校の出席率が足りなくなるなど、勉強がおろそかになって、在留期間を更新できずに帰国する留学生が毎年出ています。十分に気を付けてください。

留学生がアルバイトに就くことが多い職種

	職種	割合
1	飲食業	39.2%
2	営業・販売	28.4%
3	工場での組立作業	6.0%
4	ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント	5.6%
5	ホテル受付・ホール係	4.2%
6	語学教師/清掃	3.4%
7	一般事務	3.1%
8	倉庫整理/翻訳・通訳	2.9%

出典:「令和5年度私費外国人留学生生活実態調査」(JASSO)

アルバイトの時給

時給	割合
1,000円未満	20.5%
1,000～1,200円未満	50.2%
1,200～1,400円未満	20.5%
1,400～1,600円以上	5.0%
1,600円以上	3.6%
不明	0.2%



「日本留学中にお金が稼げる」と強調する留学あっせん業者には要注意

近年、一部の留学あっせん業者が、次のような誤った情報を流しているの、気を付けてください。

「1時間に3,000円(19米ドル)の時給がもらえる。」→ **✗ 通常の時給は、1,300円(8米ドル)程度です。**

「留学中は、アルバイトで月20～30万稼げるので、学費と生活費がカバーできる上に、国に仕送りができる。」→ **✗ できません。(平均約81,000円(513米ドル))**

※ 1米ドル = 158 円で計算

インターンシップ

学生が在学中に企業等において自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験をする制度のことをインターンシップといいます。教育課程の一環としてインターンシップを単位として認める学校もあります。制度の有無及び単位の認定については、直接学校に確認してください。

なお、報酬を得る場合は、「資格外活動許可」を受ける必要があります。週28時間を超えるインターンシップを希望する場合は、インターンシップの内容を明らかにする資料とともに、地方出入国在留管理局等に個別に「資格外活動許可」の申請をしてください。

■ アルバイトとインターンシップの違い

アルバイト：労働力を提供することでお金を得る就労。

インターンシップ：就業機会を与えて、将来のキャリアプラン等に役立ててもらおうための就業体験。無報酬であることも多いです。

■ インターンシップを探す方法

①大学等の就職担当部署

掲示板などを頻繁にチェックしましょう。

②就職支援サイト

業種や職種を問わず多くのインターンシップを募集しています。

③インターンシップ専門のあっせん業者

受け入れ企業のことをよく知っているため、学生と企業のミスマッチが起こりにくいです。

経済産業省 国際化促進インターンシップ事業 (海外の大学生・既卒者のみを対象とする)

経済産業省では、外国人学生等を対象とした日本の中堅・中小企業におけるインターンシップ事業を実施しています。

問い合わせ：経済産業省貿易経済協力局技術・人材協力課
TEL：(+81) 3-3501-1937

■ 日本国外の大学に在籍している学生が、日本でインターンシップをする場合の在留資格

日本国外の大学に在籍する学生が、その大学の単位取得等教育課程の一環として、日本の企業等との契約や取り決めに基づき就業体験をするために入国する場合は、報酬の有無、滞在期間に応じ、在留資格は「特定活動」、「文化活動」、「短期滞在」のいずれかになります。

厚生労働省 外国人雇用サービスセンター (東京・名古屋・大阪・福岡)

雇用情報の提供、職業相談や紹介、インターンシップの受付を行っています。

■ 問い合わせ

東京 <https://site.mhlw.go.jp/tokyo-foreigner/>



名古屋 <https://site.mhlw.go.jp/aichi-foreigner/>



大阪 <https://site.mhlw.go.jp/osaka-foreigner/home.html>



福岡 https://site.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/hw/fuzoku_kikan/gaisen.html



日本での就職

日本では、「国籍を問わず優秀な人材を確保したい」、「外国語や外国の状況を理解している人材が必要」、「多様な背景を持つ人材を積極的に採用したい」と考える企業が増え、外国人留学生の採用は増加しています。しかし、留学生の日本国内での就職は簡単ではありません。下記のウェブサイトでは、就職活動の体験談や就職関連イベント情報を掲載しているので、それらを参考にしながら早めに就職活動をしましょう。

 **外国人留学生のための就活ガイド (JASSO)**
https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/job/guide.html



 **Japan Alumni Global Network (JASSO)**
https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/alumni/index.html

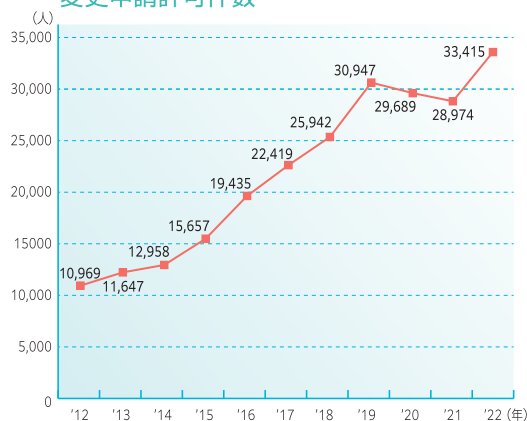


 **高度外国人材活躍推進ポータルサイト
「Open for Professionals」**
<https://www.jetro.go.jp/hrportal/>



日本における留学生の就職状況について

■ 在留資格「留学」等から就労資格への変更申請許可件数

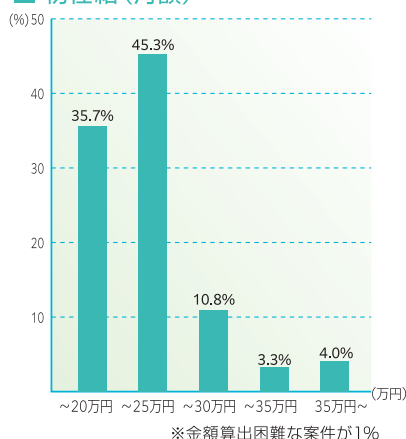


参考：「令和4年における留学生の日本企業等への就職状況について」（出入国在留管理庁）

■ 業種別構成比（上位10種）

1位	翻訳・通訳	16.1%
2位	情報処理・通信技術	7.7%
3位	企画事務（マーケティング、リサーチ）	7.4%
4位	管理業務（経営者を除く）	7.0%
5位	海外取引業務	6.4%
6位	法人営業	4.7%
7位	企画事務（広報・宣伝）	4.4%
8位	介護福祉士	3.7%
8位	会計事務	3.7%
8位	生産管理	3.7%
8位	技術開発	3.7%

■ 初任給（月額）



■ 在留資格の変更

留学生が日本において就職する場合には、在留資格「留学」から、「技術・人文知識・国際業務」など就労可能な在留資格に変更することが必要になります。在留資格「技術・人文知識・国際業務」に関するポイントは、右の通りです。

■ 就職が決まらなかった場合

日本の大学※1または専門学校※2の卒業までに就職が決まらなかった場合でも、「留学」から「特定活動」へ在留資格の変更を行うことによって、就職活動を学校卒業後に1年間、継続して行うことができます。この場合の在留期間は6ヵ月間で、原則として一度の更新が認められます。※3 ※4

① 学歴	日本又は外国の大学・短期大学・高等専門学校卒業生 日本の専門学校を卒業して「専門士」の称号を得た者
② 従事しようとする業務内容	学術上の素養を背景とする一定水準の業務であることのほか、「専門士」の称号を得た者については、就職先での仕事内容が自分の専攻していた科目に関連があるか、重視される。
③ 報酬	日本人と同等額以上の報酬があること
④ 企業の実態	会社の経営基盤や業績が安定していること等

※1 短期大学及び大学院を含む。ただし、別科生、聴講生、科目履修生及び研究生は含まない。

※2 専門士の称号を取得したものに限る。

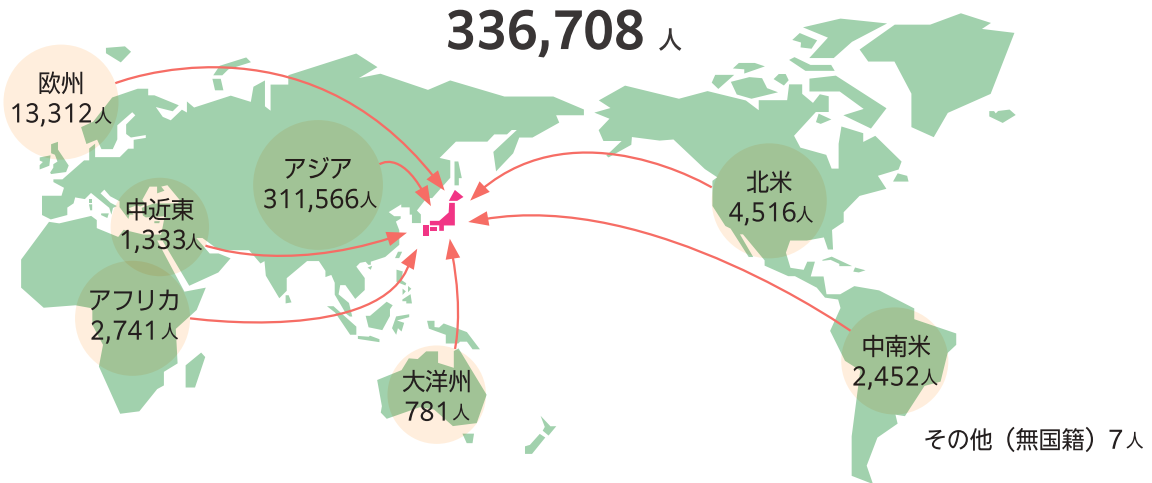
※3 学校からの推薦が必要です。

※4 一定の要件を満たせば卒業後2年目も継続して就職活動を行うことができます。要件等の詳細は地方出入国在留管理局等に問い合わせてください。

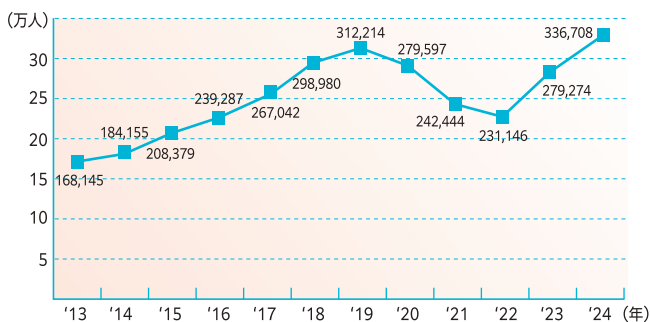
統計

日本における外国人留学生

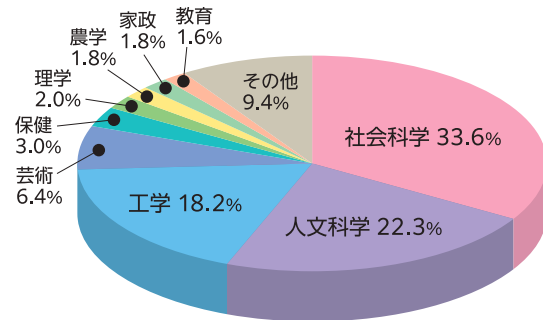
2024年5月1日現在



外国人留学生数推移（各年5月1日現在の留学生数）



専攻分野別外国人留学生の割合（高等教育機関）



在学段階別外国人留学生数

		国立	公立	私立	合計
在学段階	大学院	34,411	2,176	21,628	58,215
	大学(学部)	10,844	1,719	74,858	87,421
	短期大学		2	3,263	3,265
	高等専門学校	504	0	2	506
	専門学校	0	52	76,350	76,402
	準備教育課程	131		3,527	3,658
	日本語教育機関		100	107,141	107,241
合計		45,890	4,049	286,769	336,708

出身国（地域）別留学生数

	国（地域）名	留学生数
1位	中国	123,485
2位	ネパール	64,816
3位	ベトナム	40,323
4位	ミャンマー	16,596
5位	韓国	14,579
6位	スリランカ	12,269
7位	台湾	7,655
8位	バングラデシュ	7,597
9位	インドネシア	6,778
10位	モンゴル	4,085

出典：令和6年度外国人留学生在籍状況調査（JASSO）

高等教育機関数

	国立	公立	私立	合計
大学				
大学院	86	91	486	663
学部	82	100	605	787
短期大学	—	15	282	297
高等専門学校	51	3	4	58
専門学校	8	176	2,492	2,676

※ 私立大学に放送大学を含む。

出典：令和6年度学校基本調査（文部科学省）

※ 2024年5月1日現在

キャンパス日記

留学生は、どんな毎日を送っているのでしょうか？
皆さんの疑問に答えて、先輩達の学生生活をのぞいてみました。
夢に向かって頑張っている留学生の声を聞いてみましょう！



将来は、工学の分野で
日本とインド両国をつなぐ
架け橋として役立ちたい

東北大学 工学部 機械知能・航空工学科
国際機械工学コース(国際共修型コース) 3年
アヴィン(インド)

私が日本留学を決めたのは、日本語通訳者である父の影響です。初めて日本を訪れた際に、色々な体験をすることができました。人々の考え方や他者への敬意、そして細部にまでこだわる姿勢に魅了され、日本の大学を探し始めました。中でも次世代放射光施設施設であるナノテラスがある東北大学に魅力を感じ、国際機械工学コースに応募しました。

これまでの私の人生の旅は、STEM(科学・技術・工学・数学)だけでなく、多様な分野において、刺激的な経験で満ち溢れてい

ます。特にここ仙台での生活は素晴らしく、自然に囲まれた街で、サイクリングや散歩をしながら静かな雰囲気を楽しんでいます。さらにこの国際的な環境は私自身の成長となり、多様な視点から考え、世界中の人々とつながることができるようになりました。

将来は、工学の分野で日本とインドの両国に貢献し、両国をつなぐ架け橋として役立ちたいと考えています。日本留学は私の人生の旅のターニングポイントとなり、この旅が次はどこへ行くのか、ワクワクしています。



1日の過ごし方

8:00 起床

朝起きてから最初にコーヒーを淹れます。身支度をして、自転車でキャンパスに行きます。

9:00~ 講義出席、研究

講義は少なく、主に研究室での研究が中心です。

13:00 昼食

昼食は大学のカフェテリアで食べます。安く近くで便利です。メニューはヴィーガンやハラールのオプションもあり、よく変わります。

14:00 大学でのアルバイト

ヘルプデスクでAA(アドミニストレイティブ・アシスタント)として留学生の日本での生活をサポートしています。また、量子コンピューティングの実験を行うRA(リサーチ・アシスタント)としても働いています。

15:00 勉強

カフェや図書館でレポートを書いたり、課題をこなしたりしています。日本の大学には、キャンパス内に素敵な勉強場所がたくさんあります。

18:00~ サークル活動・夕食

東北大学留学生協会(TUFSA)のリーダーとして、文化交流イベントの企画や議論のために会議を開いています。その後、友達と夕食を取ったり、街を探索したり、本を読んだりしてから寝ます。



日本で初めて四季を体験し、
とても感動しました。
学問的、文化的にも
成長することができました。

島根大学 自然科学研究科
環境システム科学専攻 地球科学コース
エリカ(コロンビア)

私の夢は火山学者になることです。私が日本に行きたいと思った理由は、日本が火山と深く複雑な関係を持っていることに感動したからです。風景、天然温泉、そして災害までもが日本の地理や文化、伝統、人々の生活に多くの影響を与えています。この日本と火山の関係性を自分の目で見て実感することがきっかけで、島根大学(松江市)の大学院プログラムに応募し、MEXT 奨学金(日本政府奨学金)を利用して大山火山の研究を行うことにしました。

日本での生活は全く新しい経験で、知っていたと思っていたことを全てもう一度学習

するような感じです。私は日本の田舎に住んでいますが、一番好きなのは静かで平和な環境と自然の近さです。さらに、まわりの人々がとても親切で、すぐに馴染むことができました。

私は日本に来て初めて四季を体験し、紅葉や雪景色、桜の花見を楽しむことができ、本当に感動しています。この機会を得られたことにとても感謝していますし、学問的、個人的、文化的にも成長することができました。これらの知識を活かして、日本と自分の国の火山をよりよく理解するために役立てたいと考えています。



1日の過ごし方

8:30 大学に到着

毎朝、自宅から大学まで自転車で通っています(約5分)。その後、講義や他のコースに出席します。

10:00 研究作業

この時間は研究に集中し、サンプルの分析や実験室での作業を行ったり、論文を読んだりしています。

12:30 昼休憩

昼食は大学のカフェテリアで研究室の仲間や友達と一緒に食べることが多いですが、時々自分で料理を作って仲間とシェアすることもあります。

13:30-17:30 大学で過ごす

日によって講義に出席したり図書館に行ったりします。また、コンビニでコーヒーを買い、短い休憩時間でおしゃべりをしたり、大学の周りを散歩したりします。

17:30-19:00 日本語の勉強

日本に来た時は日本語が全くできなかったのですが、美しい日本語を身につけるために日々勉強しています。

19:00~ 夕食

友達と一緒に料理をすることが多いですが、疲れているときはマクドナルドやま寿司に行くこともあります。

Campus Diary



将来はインドネシアで
学校を作って国の発展に
貢献したい

ECC 国際外語専門学校 日本語学科 ケリー（インドネシア）

私は小学生の頃から「教育」に興味を持ち、自分が得た知識を他の人に伝えたいという気持ちがあり、海外に留学したいと考えていました。特に、日本の教育やマナー、技術開発に関心があり、自分を成長させるために日本への留学を決めました。

初めて日本に来たとき、すべてが知らないものばかりで、日本語も全く分かりませんでした。しかし、家族や先生方、仲間などの支えがあり、少しずつ自信を持てるようになりました。そのおかげで、スピーチコンテストやプレゼン大会に挑戦し、最優秀賞や優秀賞を受賞することができました。

また、全国専門学校日本語学習の弁論大会にも挑戦し、大きな成長を感じました。

私は将来、多くの人が質の高い教育を受けられる仕組みを作りたいです。そのために大学に進学して、様々な学習経験を積んで、多くの人と知識や考え方を共有したいと思っています。いつかインドネシアで学校を作って、国の発展に貢献したいです。



1日の過ごし方

6:30 起床・朝食・予習

私は朝早く起きるのが好きで、音楽を聴きながら朝食を作り、ゆっくりとした朝の時間を楽しんでいます。

8:30～ 通学・授業

授業は9時から始まり、言語知識や読解、聴解などを勉強します。時々、発表もあります。

13:30 昼休憩

たまに自分で昼食を作りますが、友達とはよく外食します。

14:00～ アルバイト

大阪府内の高等学校の生徒を対象に、英語で教える「グローバル体験」というプログラムに参加しました。

17:00 帰宅・運動

時々、自宅で運動をしたり、近くの公園で散歩をしたりします。

20:00 復習・自由時間

学校の復習や宿題があればこの時間にしますが、この時間は自分の好きなことをする時間でもあります。家族と電話したり、友達とゲームをしたりします。

22:30 就寝

しっかりと良い眠りをとることを忘れないでね！(^ω^)



日本留学を迷っているのなら
奨学金制度を活用して
挑戦してください！

辻調理師専門学校 製菓技術マネジメント学科 キム スジョン（韓国）

私は美味しくて綺麗なデザートを作るパティシエールになるために日本に来ました。韓国で大学を卒業して海外でインターンもしたので周りの人たちより遅いタイミングで留学生活を始めました。それで最初はこの選択が正しいのか不安になる時もありました。しかし日本語の勉強のための1年、製菓学校で過ごした2年は私にとってとても有意義な時間でした。

私が通った辻調理師専門学校は韓国でも有名でパティシエを目指す人たちにとても人気がある学校です。毎日朝9時に始まり午後4時までお菓子について勉強します。1年生の時は製菓衛生師免許のために衛生関



係の授業や経営についても習いました。また学校の授業以外にも大会やコンクールに挑戦することができます。私も2年間色んな大会やコンクールに出て、先生方のご指導のお陰でいい結果を得ることができました。私はこの春、東京に就職するので卒業したら東京に行きます。でも国にすぐ帰って就職したり、開業したりする留学生も多いです。色んな道があるのでもし日本留学を迷っている人がいたら私はぜひ挑戦してくださいと言いたいです。

費用のことが心配でしたら、色んな奨学金制度があるので上手く活用してみてください。



1日の過ごし方

7:30 登校準備

シャワーをして白衣や器具セット、教科書を確認し、歩いて登校。

9:00～ 午前実習

12:10 昼休み

学校に食堂がないので、自分で作ったお弁当やコンビニで買って食べる。パンの1日実習がある日は授業中昼ご飯を作って皆と一緒に食べる。

13:10～ 午後実習

半日実習の場合は座学。

16:40～ 自主練

試験やコンクールがある時。

18:30～ 自由時間

普段はバタークリームで絞りをやナッペの練習、練り切りで包餡の練習。全国大会の時期は規定課題の練習。

日本留学 Q&A

Q ①小学校・中学校・高校のうち、数年間日本の学校に在学していた

②日本の高校を卒業した

③日本国籍と別の国籍と、二つの国籍を持っている

以上のような場合、外国人入試に出願できますか？

A 出願資格があるかどうか、学校が審査します。出願前に学校に連絡して、出願資格があるかどうか確認しましょう。学校によっては、日本人学生と同じ入学試験制度となる可能性もあります。

Q 障害を持っています。入学試験を受ける時や進学後に学校から配慮を受けられますか？

A 障害をもった留学生も、学校からのサポートを受けて、日本で学んでいます。病気、身体的な障害等により、受験時や進学後に、何らかの配慮を希望する場合、出願前に学校に相談しましょう。

Q 入学試験を受けるために、日本に行かなければなりませんか？

A 日本で入学試験を実施する学校が多いようですが、学校によっては、書類選考のみで合否を決めたり、インターネットを使って面接を行ったり、受験者の国で試験を実施するところもあります。（受験のための渡日手続はP.28参照）

Q 大学のランキングはありますか？

A それぞれの団体が、それぞれの観点や基準から作成したランキングはありますが、日本政府公式のランキングはありません。それらのランキングが上位だからと言って、あなたに合った学校とは限りませんので、先生や留学経験者の話を聞いたり、JASSOや学校のウェブサイトを開覧したりすることで情報収集を行い、自分の興味や関心にあった学校を探しましょう。

日本留学の基本情報



日本留学情報サイト

<https://www.studyinJapan.go.jp/ja/>



・学校検索・奨学金情報

・JASSO主催 日本留学フェア等

<https://www.studyinJapan.go.jp/ja/events/>



・日本留学促進資料公開拠点

日本の教育機関のパンフレットや日本留学関連図書が閲覧できます。

<https://www.studyinJapan.go.jp/ja/planning/brochures/studyinJapan-resource-facilities.html>



JASSO Study in Japan SNS



Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100092715664950>



Instagram

https://www.instagram.com/JASSO_study_in_Japan/



YouTube channel

https://www.youtube.com/@studyinJapan_official



日本留学のためのお役立ちサイト

つながるひろがる にほんごでのくらし

(文部科学省)

<https://tsunagarup.mext.go.jp/>



日本に住み始めたばかりで、日本語を初めて学ぶ外国人の方や、外国に住んでいて日本語学習機会がない方のための、オンラインで日本語学習を行うことができるウェブサイトです。様々な言語に翻訳され、日本語レベル別にテーマが分かれており、日本での生活に役立つ日本語を学ぶことができます。



ひろがる もっといろんな日本と日本語

(国際交流基金)

<https://hirogaru-nihongo.jp/>



12のトピックに関する情報や動画から選んで、日本語のオンライン学習ができるウェブサイトです。日本文化が好きな方や、日本語を趣味で勉強している方が、日本や日本語を楽しく学ぶことができます。



生活・就労ガイドブック (出入国在留管理庁)

https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/guidebook_all.html



日本で生活する外国人の方が安心して生活・就労ができるようにするための、基本的な情報が確認できます。様々な言語に翻訳されており、これから日本での生活を始める外国人の方のために、やさしい日本語で書かれた「生活・仕事ガイドブック」もあります。



JV-Campus 日本の新しいオンライン教育

<https://www.jv-campus.org/>



JV-Campusは、日本国内外のさまざまな大学がオンラインで質の高い教育コンテンツを提供しています。語学、ビジネス、IT、アート、文化など、幅広い分野のコースが揃っています。初心者から上級者まで、自分のレベルに合ったコースを選ぶことができます。日本の大学ではどんな授業が行われているのか、ぜひ参考にしてみてください。

また、日本文化や日本語に興味のある人に向けたコンテンツも充実しています。



日本国大使館・総領事館 (在外公館リスト)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>



世界に所在する日本国大使館・総領事館の住所などの連絡先、ウェブサイトのURLが一覧で確認できます。日本政府(文部科学省)奨学金情報や日本留学に関する情報を発信している大使館、総領事館もあります。



私たち日本学生支援機構は、皆さんにとって日本留学が 実りあるものになることを心より願っています。

独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) は、文部科学省が所管する団体です。
学生支援を先導する中核機関として、奨学金事業、留学生支援事業及び学生生活支援事業を総合的に実施し、
次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するとともに、
国際理解・交流の推進を図ることを目指しています。

1 奨学金事業

経済的理由により修学に困難がある優れた日本人の学生等に対し、奨学金の貸与及び給付を行っています。また、学生の多様なニーズに対応した奨学金制度の充実や申請手の改善、奨学金に関する情報提供の充実、適切な回収を行っています。

2 留学生支援事業

留学生等に対する奨学金の給付、各種留学生交流プログラムの実施、日本留学試験等による入学手の改善、留学に関する情報の収集・提供等を推進しています。

3 学生生活支援事業

各大学等が行う各種学生生活支援活動に資するために、学生生活支援に関する有益な活動事例等の情報を収集・分析するとともに、情報の提供を行っています。また、各種研修事業等を通して大学等の学生サービスの充実を支援しています。



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization
TEL:03-5520-6111 FAX:03-5520-6121
〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1
infoja@jasso.go.jp

海外事務所 (JASSO 日本国際教育交流情報センター)

インドネシア TEL (+62) 21-252-1912

JASSO Japan Educational Information Center, Jakarta
2nd Floor, Summitmas Tower II, Jalan Jenderal Sudirman Kav. 61-62,
Jakarta 12190 INDONESIA
Email : info@jasso.or.id
Web : <https://www.jasso.or.id/>
Facebook : <https://www.facebook.com/jasso.indonesia>
Instagram : <https://www.instagram.com/jasso.indonesia/>
WhatsApp : <https://api.whatsapp.com/send?phone=62212521912>

タイ TEL (+66) 2-661-7057

JASSO Japan Educational Information Center, Bangkok
1016/3, 10FSerm-mit Tower, 159 Asok-Montri Rd., Bangkok 10110
THAILAND
Email : info@jeic-bangkok.org
Web : <https://www.jeic-bangkok.org/>
Facebook : <https://www.facebook.com/JASSO.Thailand>
Instagram : <https://www.instagram.com/jasso.thailand/>

ベトナム TEL (+84) 24-3710-0226

JASSO Vietnam Office
4th Floor, CornerStone Building, 16 Phan Chu Trinh, Hoan
Kiem, Hanoi, VIETNAM
Email : info@jasso.org.vn
Web : <https://www.jasso.org.vn>
Facebook : <https://www.facebook.com/JASSO.Vietnam>

韓国 TEL (+82) 2-765-0141

JASSO Japan Educational Information Center, Seoul
702 Garden Tower, 84 Yulgok-ro, Jongno-gu, Seoul 03131
Republic of KOREA
Email : jasso@jasso.or.kr
Web : <https://www.jasso.or.kr/>
Facebook : <https://www.facebook.com/JASSO.Korea>
Instagram : <https://www.instagram.com/jasso.korea/>

マレーシア TEL (+60) 3-2287-0812

JASSO Japan Educational Information Center, Kuala Lumpur
A-7-5, Northpoint Offices, Mid Valley City, No. 1, Medan Syed Putra
Utara, 59200 Kuala Lumpur, Malaysia
Email : enquiry@studyinJapan.org.my
Web : <https://www.studyinJapan.org.my/>
Facebook : <https://www.facebook.com/JASSO.KL/>

海外事務所では、以下の業務を行っています。

- Eメール・面談・電話・手紙による相談
- 学校案内・学校要覧・日本留学参考図書の閲覧
- 現地説明会での情報提供

<https://www.studyinJapan.go.jp/ja/contact/>